

## 第2次石巻圏域定住自立圏共生ビジョン (イメージ案)

- ・次期ビジョンの内容をイメージしていただくことを目的とした参考資料です。
- ・現在の共生ビジョンをベースに作成しております。

令和 年 月 日

石 巻 市  
東松島市  
女 川 町

## 目 次

### 序 章 石巻圏域定住自立圏共生ビジョンの策定に当たって

|                        |   |
|------------------------|---|
| 1 定住自立圏構想の概要           | 2 |
| 2 定住自立圏の名称             | 2 |
| 3 石巻圏域を形成する市町（構成市町）の名称 | 2 |
| 4 石巻圏域定住自立圏共生ビジョンの目的   | 2 |
| 5 石巻圏域定住自立圏共生ビジョンの期間   | 2 |

### 第1章 圏域の概要

|                  |    |
|------------------|----|
| 1 圏域の位置・地勢       | 4  |
| 2 圏域市町の概況        |    |
| (1) 石巻市          | 5  |
| (2) 東松島市         | 5  |
| (3) 女川町          | 5  |
| 3 圏域の現状          |    |
| (1) 各市町の面積・人口    | 6  |
| (2) 圏域の総生産・所得    | 13 |
| (3) 圏域における産業の概況  | 15 |
| 4 圏域の結びつき        |    |
| (1) 通勤者・通学者の流動状況 | 25 |
| (2) 医療機関の状況      | 28 |
| (3) 福祉施設         | 30 |
| (4) 交通           | 30 |

### 第2章 定住自立圏の将来像

|                |    |
|----------------|----|
| 1 圏域づくりの基本的方向性 | 32 |
| 2 将来像          | 34 |

### 第3章 定住自立圏形成に向けた具体的な取組

|                              |    |
|------------------------------|----|
| 1 体系図                        |    |
| (1) 生活機能の強化                  | 36 |
| (2) 結びつきやネットワークの強化           | 37 |
| (3) 圏域マネジメント能力の強化            | 37 |
| I 生活機能の強化に係る政策分野             |    |
| 1 医療福祉                       |    |
| (1) 救急医療及び地域医療連携体制の充実        | 38 |
| (2) 保健サービスの充実                | 39 |
| (3) 子育て支援センターの利便性の向上         | 40 |
| (4) 医療・介護・福祉人材の確保            | 41 |
| 2 教育                         |    |
| (1) スポーツ・レクリエーションによる連携と地域活性化 | 42 |
| (2) 特別支援教育に関する連携             | 43 |
| (3) 社会教育活動の連携                | 44 |
| (4) 石巻専修大学との連携               | 45 |
| 3 産業振興                       |    |

|                                |     |
|--------------------------------|-----|
| (1) 第1次産業（農林水産業）の振興            | 4 6 |
| (2) 港湾整備利活用の促進                 | 4 7 |
| (3) 企業立地の推進                    | 4 8 |
| (4) 広域観光の推進                    | 4 9 |
| (5) ニホンジカ対策の推進                 | 5 0 |
| (6) 新規創業の促進                    | 5 1 |
| 4 環境                           |     |
| (1) 環境保全の啓発                    | 5 2 |
| (2) ごみの減量化・再資源化の推進             | 5 3 |
| 5 防災                           |     |
| (1) 防災対策の維持・構築                 | 5 4 |
| <b>Ⅱ 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野</b> |     |
| 1 地域公共交通                       |     |
| (1) 公共交通の課題解決                  | 5 5 |
| 2 デジタル・トランスフォーメーション            |     |
| (1) デジタル・トランスフォーメーションの推進       | 5 6 |
| 3 道路等の交通インフラ整備                 |     |
| (1) 道路ネットワークの構築                | 5 7 |
| 4 移住定住                         |     |
| (1) 移住定住の推進                    | 5 8 |
| 5 震災伝承                         |     |
| (1) 震災伝承の推進                    | 5 9 |
| <b>Ⅲ 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野</b>  |     |
| 1 人材育成及び職員交流                   |     |
| (1) 圏域職員の研修及び交流                | 6 0 |
| 2 外部人材の確保                      |     |
| (1) 外部人材の確保                    | 6 1 |
| 3 政策調整                         |     |
| (1) 政策の調整                      | 6 2 |
| 4 S D G s                      |     |
| (1) S D G s の推進                | 6 3 |
| <b>参考資料</b>                    |     |
| ・石巻圏域定住自立圏形成推進会議規約             | 6 5 |
| ・石巻圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会設置要綱        | 6 7 |
| ・石巻圏域定住自立圏構想推進体制               | 6 8 |



## 序章 石巻圏域定住自立圏共生ビジョンの策定に当たって

## 1 定住自立圏構想の概要

わが国では、少子高齢化等の影響に伴う、人口減少が急速に進展しており、特に地方圏においては、三大都市圏への人口流出も重なり、人口減少に歯止めがかからない状況が続いています。

「定住自立圏構想」は、こうした現状を踏まえ、地方圏において、安心して暮らせる地域を各地に形成し、三大都市圏への人口流出を食い止めるとともに、地方圏への人の流れを創出することを目的とした施策です。

このことから、石巻圏域においても、「定住」に必要な都市機能と生活機能を確保するとともに、「自立」に必要な経済基盤等を培うことなどにより、圏域全体の魅力の向上と活性化を図り、人口減少を食い止め、持続可能な圏域社会を構築していくものです。

## 2 定住自立圏の名称

石巻圏域定住自立圏

## 3 石巻圏域を形成する市町（構成市町）の名称

石巻市、東松島市、女川町

## 4 石巻圏域定住自立圏共生ビジョンの目的

石巻圏域の将来像の実現に向けて、定住自立圏形成に関する協定に基づき、石巻市、東松島市、女川町が連携して推進する具体的な取組を示すことを目的とします。

## 5 石巻圏域定住自立圏共生ビジョンの期間

令和9年度から令和13年度までの5年間とし、必要に応じて毎年度所要の変更を行うものとします。

## 第 1 章 圏域の概要

## 1 圏域の位置・地勢

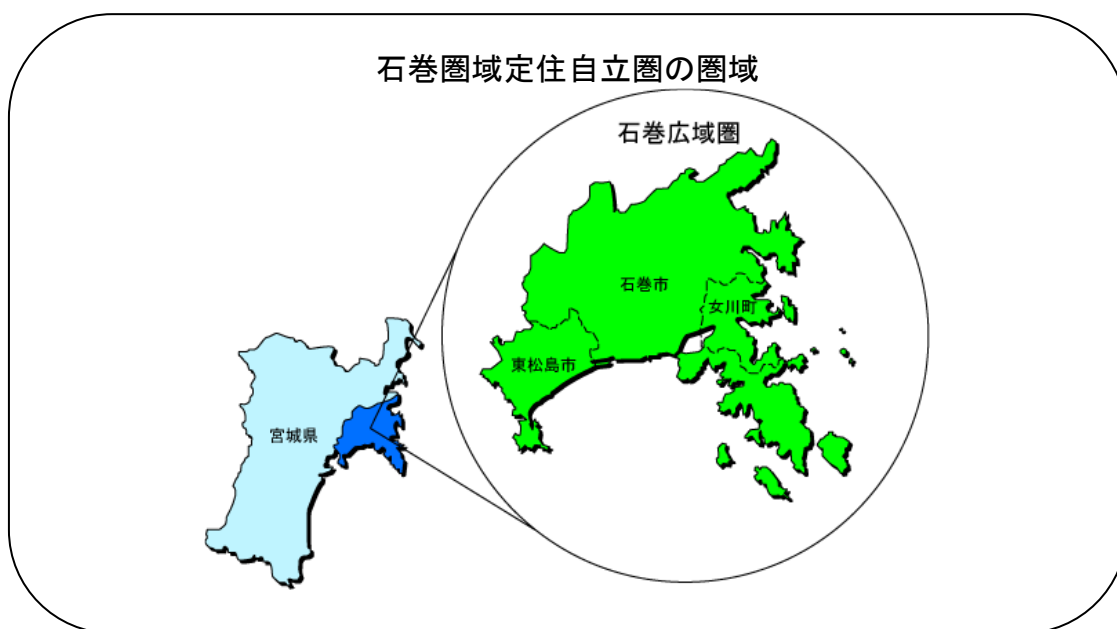
石巻圏域は、宮城県の北東部に位置し、中心都市の石巻市は、仙台市から約50kmの距離にあります。

圏域の中央には一級河川「旧北上川」が貫流し、東部一帯は「三陸復興国立公園」に指定され、北部と西部は仙台平野を形成する広大な耕地となっており、南西部は「特別名勝松島」に接しています。

気候は、東北地方の中部太平洋側に位置するため、内陸地方に比べて寒暖の差は少なく、一年を通して比較的温暖な地域となっています。

産業面では、世界三大漁場の一つに数えられる金華山沖に近接することから、古くから漁業や水産加工業が盛んであり、沖積平野を形成する内陸部では、河川による豊かな水源を生かした稲作のほか、畜産、施設園芸なども営まれています。

また、石巻湾に隣接する石巻市と東松島市の臨海部には、パルプ・紙製造や木材・木製品製造及び飼料製造等を中心とした工業地帯が形成されている一方で、北上高地の山々、リアス式海岸、離島など自然環境にも恵まれていることから、自然を生かした観光業も盛んです。





## 2 圏域市町の概況

### (1) 石巻市

石巻市は、宮城県北東部に位置する、風光明媚な県下第2の都市です。

産業面では、旧北上川・北上川沿いに肥沃な耕地が広がり、豊かな水に育まれた水田地帯による稲作が営まれているほか、内陸部では、野菜や花きに加え、肉用牛の生産も行われるなど、多彩な複合経営農業が営まれています。

また、金華山沖の豊かな水産資源を背景に漁業のまちとしても栄え、東日本大震災で被災し、再建された「石巻市水産物地方卸売市場石巻売場」が、世界一長い魚市場としてギネス世界記録に認定されています。

さらには、工業都市としても発展を遂げており、国際拠点港湾「仙台塩釜港石巻港区」の背後には、パルプ・紙製造や木材・木製品製造及び飼料製造業などの企業が集積し、圏域経済と雇用を支える重要な役割を担っています。

### (2) 東松島市

東松島市は、宮城県中部に位置し、豊かな特別名勝松島の一角「奥松島」を占めており、里浜貝塚、赤井官衙遺跡群、松島港跡などの多くの史跡を抱える自然豊かなまちです。

また、肥沃な田園が広がる平地で、こだわりの農産物が生産され、豊饒の海では「のり」や「かき」の浅海養殖が行われています。

加えて、交通環境を活かした都市機能が充実しており、JR仙石線、三陸自動車道及び国道45号が市内を横断しているため、仙台市や石巻市などの主要都市や、仙台空港、仙台港などへの交通アクセスが容易であり、通勤・通学だけでなく観光や産業においても多彩な交流が生まれています。

### (3) 女川町

女川町は、宮城県東部に位置し、「三陸復興国立公園」地域に指定されている水産と観光の町です。

北上山地と太平洋が織りなす風光明媚なリアス式海岸は天然の良港を形成し、カキやホタテ・ホヤ・銀鮭などの養殖業が盛んで、魚市場には年間を通じて暖流・寒流の豊富な魚種が数多く水揚げされています。

また、テナント型商店街「シーパルピア女川」や「地元市場ハマテラス」を観光拠点に新鮮な魚介を活かした数多くのイベントを開催しており、半島部を走る国道や県道からは、紺碧の海と山の豊かな緑が調和する美しい景色が堪能できます。

東日本大震災により、町中心部は壊滅的な被害を受けましたが、「あたらしいスタートが世界一生まれる町へ START! ONAGAWA」をスローガンに掲げ、これまで以上の水産都市への実現に向かっております。

更新予定

### 3 圏域の現状

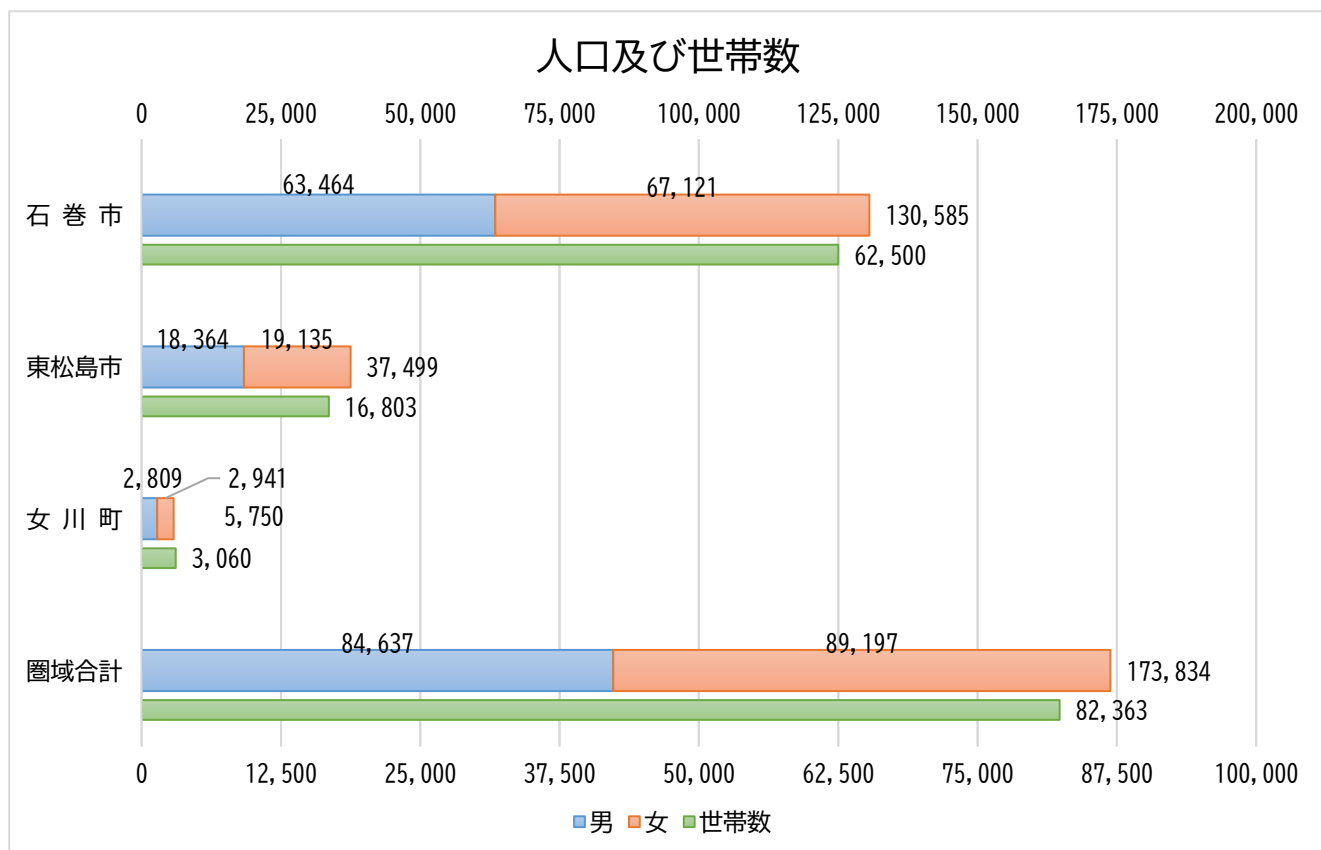
- ・ 10～16、19、29～31ページに掲載している人口に関するグラフは、暫定数値となっており、9月に公表が見込まれる令和7年国勢調査結果を反映させる予定です。

(単位：人、世帯、km<sup>2</sup>、%)

| 区分    | 人 口    |        |         |       | 世帯数    |       | 面 積    |       | 人口密度(人)<br>(1 k m <sup>2</sup> あたり) |
|-------|--------|--------|---------|-------|--------|-------|--------|-------|-------------------------------------|
|       | 男      | 女      | 総計      | 比率    | 総計     | 比率    | 総面積    | 比率    |                                     |
| 石 巻 市 | 63,464 | 67,121 | 130,585 | 75.1% | 62,500 | 75.9% | 554.55 | 76.9% | 235.5                               |
| 東松島市  | 18,364 | 19,135 | 37,499  | 21.6% | 16,803 | 20.4% | 101.30 | 14.0% | 370.2                               |
| 女 川 町 | 2,809  | 2,941  | 5,750   | 3.3%  | 3,060  | 3.7%  | 65.35  | 9.1%  | 88.0                                |
| 圏域合計  | 84,637 | 89,197 | 173,834 | 100%  | 82,363 | 100%  | 721.20 | 100%  | 241.0                               |

※出典：令和7年国勢調査（総務省）（暫定的に住基情報、9月更新予定）

※比率は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。



※出典：国勢調査 平成12年～令和7年（総務省）  
 （令和7年は暫定的に住基情報、9月更新予定）

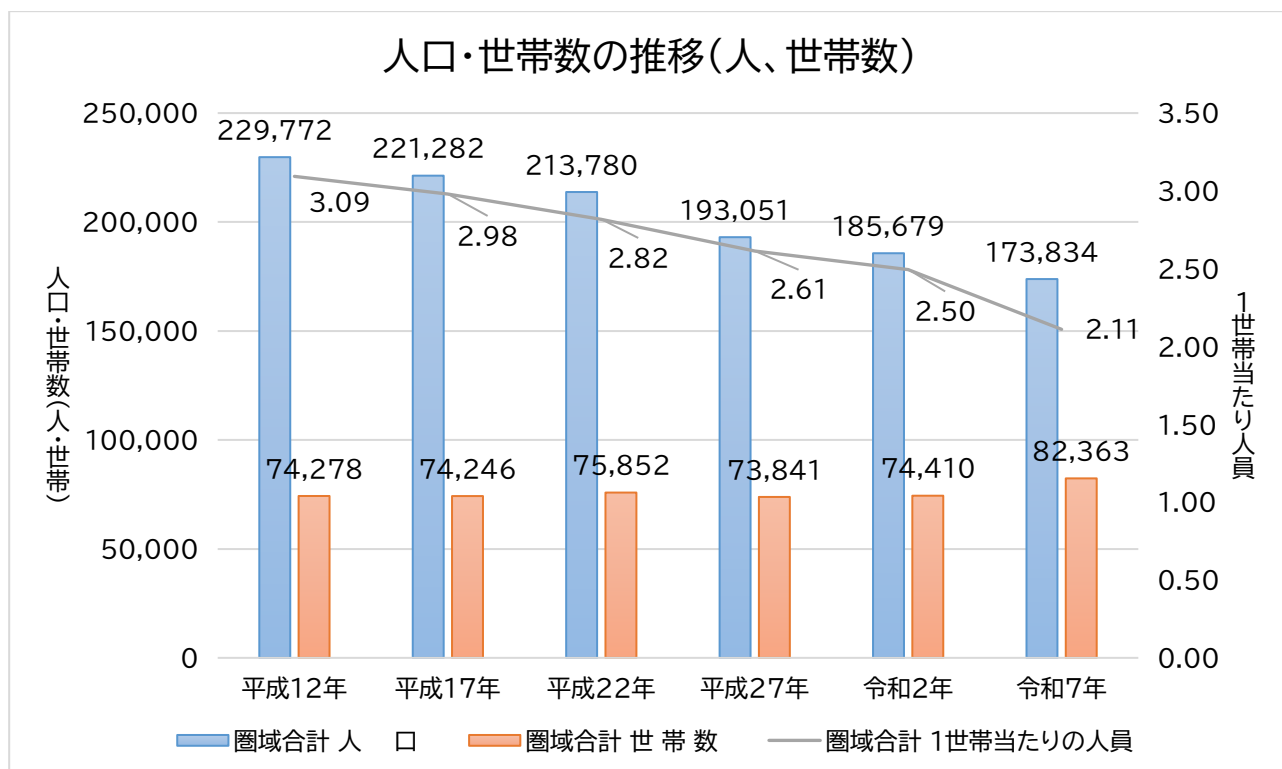
# ① 圏域における人口・世帯数の推移

いずれの市町も人口は減少しており、特に平成23年の東日本大震災の影響によって平成27年は大きく減少しています。世帯数は、圏域全体で見るとほぼ横ばいとなっていますが、人口減少により1世帯あたりの人員も減少していることから、震災以前からの核家族化による分散が進行していると考えられます。

(単位：人、世帯、%)

| 区 分  |                      |     | 国勢調査    |         |         |         |         |         |
|------|----------------------|-----|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
|      |                      |     | 平成12年   | 平成17年   | 平成22年   | 平成27年   | 令和2年    |         |
| 石巻市  | 人 口                  | 実 数 | 174,778 | 167,324 | 160,826 | 147,214 | 140,151 | 130,585 |
|      |                      | 増減率 | —       | ▲ 0.04  | ▲ 0.04  | ▲ 0.08  | ▲ 0.05  | ▲ 0.07  |
|      | 世 帯 数                | 実 数 | 57,209  | 56,770  | 57,871  | 56,819  | 56,768  | 62,500  |
|      |                      | 増減率 | —       | ▲ 0.01  | 0.02    | ▲ 0.02  | ▲ 0.00  | 0.10    |
|      | 1世帯当たりの人員<br>(人口/世帯) |     | 3.06    | 2.95    | 2.78    | 2.59    | 2.47    | 2.09    |
| 東松島市 | 人 口                  | 実 数 | 43,180  | 43,235  | 42,903  | 39,503  | 39,098  | 37,499  |
|      |                      | 増減率 | —       | 0.00    | ▲ 0.01  | ▲ 0.08  | ▲ 0.01  | ▲ 0.04  |
|      | 世 帯 数                | 実 数 | 12,785  | 13,539  | 14,013  | 13,868  | 14,476  | 16,803  |
|      |                      | 増減率 | —       | 0.06    | 0.04    | ▲ 0.01  | 0.04    | 0.16    |
|      | 1世帯当たりの人員<br>(人口/世帯) |     | 3.38    | 3.19    | 3.06    | 2.85    | 2.70    | 2.23    |
| 女川町  | 人 口                  | 実 数 | 11,814  | 10,723  | 10,051  | 6,334   | 6,430   | 5,750   |
|      |                      | 増減率 | —       | ▲ 0.09  | ▲ 0.06  | ▲ 0.37  | 0.02    | ▲ 0.11  |
|      | 世 帯 数                | 実 数 | 4,284   | 3,937   | 3,968   | 3,154   | 3,166   | 3,060   |
|      |                      | 増減率 | —       | ▲ 0.08  | 0.01    | ▲ 0.21  | 0.00    | ▲ 0.03  |
|      | 1世帯当たりの人員<br>(人口/世帯) |     | 2.76    | 2.72    | 2.53    | 2.01    | 2.03    | 1.88    |
| 圏域合計 | 人 口                  | 実 数 | 229,772 | 221,282 | 213,780 | 193,051 | 185,679 | 173,834 |
|      |                      | 増減率 | —       | ▲ 0.04  | ▲ 0.03  | ▲ 0.10  | ▲ 0.04  | ▲ 0.06  |
|      | 世 帯 数                | 実 数 | 74,278  | 74,246  | 75,852  | 73,841  | 74,410  | 82,363  |
|      |                      | 増減率 | —       | ▲ 0.00  | 0.02    | ▲ 0.03  | 0.01    | 0.11    |
|      | 1世帯当たりの人員<br>(人口/世帯) |     | 3.09    | 2.98    | 2.82    | 2.61    | 2.50    | 2.11    |

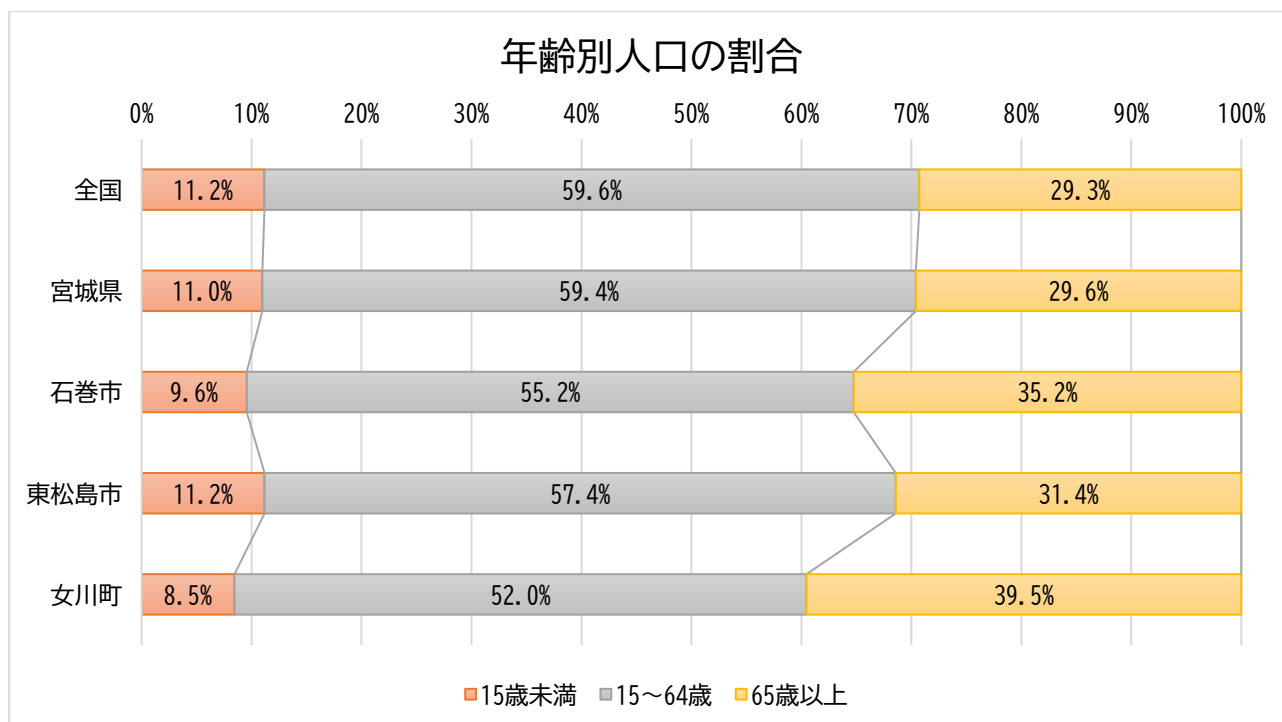
※出典：国勢調査 平成12年～令和7年（総務省）  
（令和7年は暫定的に住基情報、9月更新予定）



※出典：国勢調査 平成12年～令和7年（総務省）  
 （令和7年は暫定的に住基情報、9月更新予定）

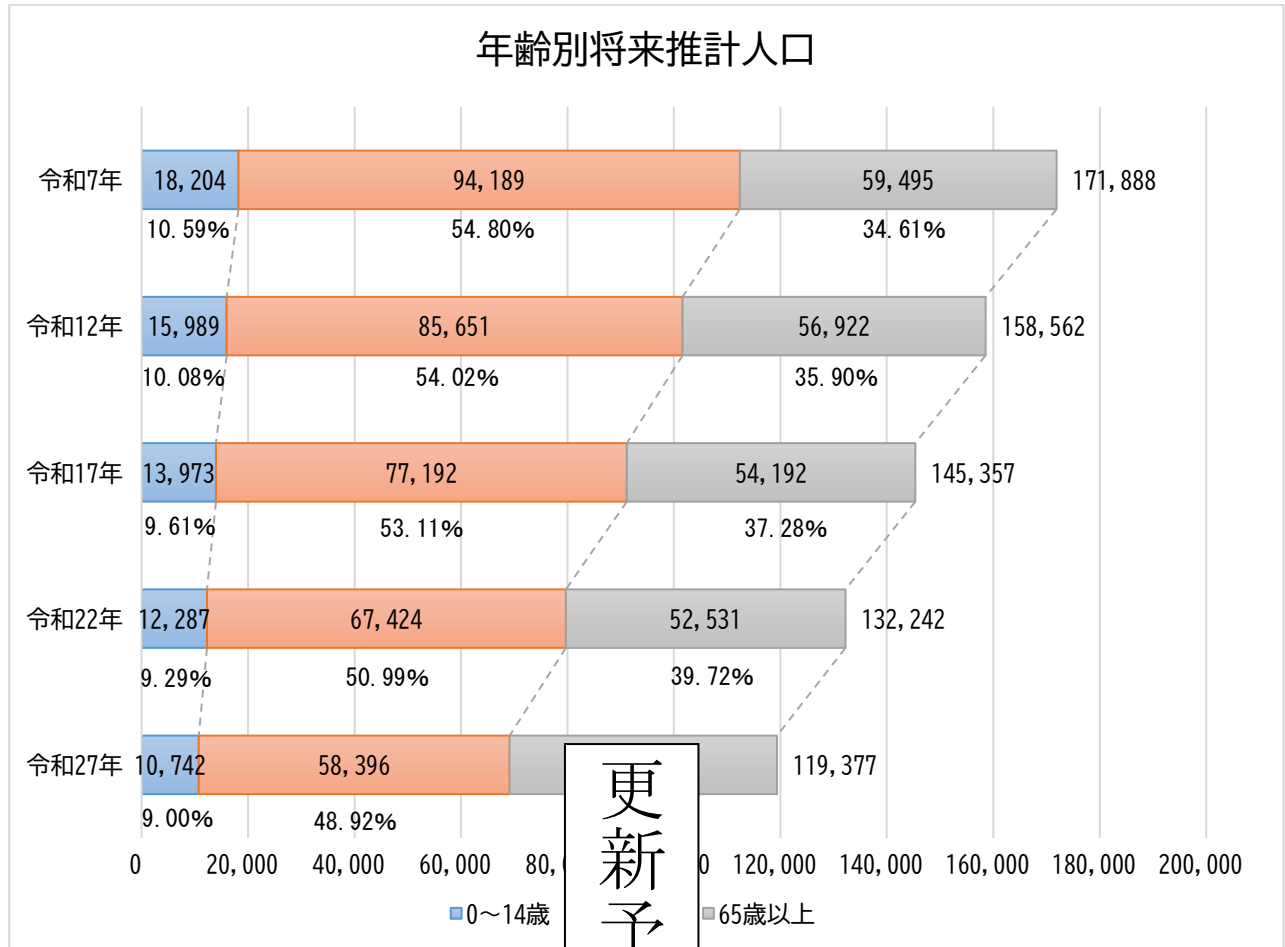
## ② 少子高齢化の現状

圏域全体で少子化・高齢化の進行が見られ、令和7年国勢調査の集計結果では、圏域各市町において65歳以上の比率が全国平均及び宮城県平均を上回っています。また、石巻市及び女川町では、15歳未満の比率が全国平均を下回っています。



※出典：令和7年国勢調査（総務省）（暫定的に住基情報、9月更新予定）

「圏域における年齢（3区分）別将来推計人口」（R8.7未更新）



| 自治体  | 項目      | 令和 7 年  | 令和 12 年 | 令和 17 年 | 令和 22 年 | 令和 27 年 |
|------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 石巻市  | 0～14 歳  | 13,230  | 10,066  | 9,819   | 8,496   | 7,309   |
|      | 15～64 歳 | 70,635  | 63,685  | 56,837  | 49,291  | 42,297  |
|      | 65 歳以上  | 45,605  | 43,218  | 40,838  | 39,126  | 37,091  |
|      | 合計      | 129,470 | 118,309 | 107,494 | 96,913  | 86,697  |
| 東松島市 | 0～14 歳  | 4,589   | 4,250   | 3,871   | 3,549   | 3,230   |
|      | 15～64 歳 | 20,862  | 19,660  | 18,411  | 16,558  | 14,817  |
|      | 65 歳以上  | 11,805  | 11,759  | 11,559  | 11,714  | 11,608  |
|      | 合計      | 37,256  | 35,669  | 33,841  | 31,821  | 29,655  |
| 女川町  | 0～14 歳  | 385     | 333     | 283     | 242     | 203     |
|      | 15～64 歳 | 2,692   | 2,306   | 1,944   | 1,575   | 1,282   |
|      | 65 歳以上  | 2,085   | 1,945   | 1,795   | 1,691   | 1,540   |
|      | 合計      | 5,162   | 4,584   | 4,022   | 3,508   | 3,025   |
| 圏域合計 | 0～14 歳  | 18,204  | 15,989  | 13,973  | 12,287  | 10,742  |
|      | 15～64 歳 | 94,189  | 85,651  | 77,192  | 67,424  | 58,396  |
|      | 65 歳以上  | 59,495  | 56,922  | 54,192  | 52,531  | 50,239  |
|      | 合計      | 171,888 | 158,562 | 145,357 | 132,242 | 119,377 |

※出典：日本の市区町村将来推計人口（平成30年3月推計）（国立社会保障・人口問題研究所）

### ③ 圏域の人口動態

近年は死亡数が出生数を上回る自然減及び転出数が転入数を上回る社会減により圏域全体で人口減少が進んでいます。

(単位：人、%)

| 区 分    | 石巻市        |        |            |            | 東松島市       |        |            |            |
|--------|------------|--------|------------|------------|------------|--------|------------|------------|
|        | 人 口<br>増減数 | 増減率    | 自 然<br>増減数 | 社 会<br>増減数 | 人 口<br>増減数 | 増減率    | 自 然<br>増減数 | 社 会<br>増減数 |
| 令和 2 年 | ▲ 1814     | ▲ 1.27 | ▲ 1228     | ▲ 586      | ▲ 187      | ▲ 0.47 | ▲ 217      | 30         |
| 令和 3 年 | ▲ 2068     | ▲ 1.48 | ▲ 1290     | ▲ 778      | ▲ 189      | ▲ 0.48 | ▲ 211      | 22         |
| 令和 4 年 | ▲ 1831     | ▲ 1.33 | ▲ 1391     | ▲ 440      | ▲ 405      | ▲ 1.04 | ▲ 258      | ▲ 147      |
| 令和 5 年 | ▲ 2089     | ▲ 1.53 | ▲ 1537     | ▲ 552      | ▲ 538      | ▲ 1.40 | ▲ 272      | ▲ 266      |
| 令和 6 年 | ▲ 2357     | ▲ 1.76 | ▲ 1618     | ▲ 739      | ▲ 488      | ▲ 1.29 | ▲ 340      | ▲ 148      |
| 平 均    | ▲ 2032     | ▲ 1.47 | ▲ 1413     | ▲ 619      | ▲ 361      | ▲ 0.94 | ▲ 260      | ▲ 102      |

(単位：人、%)

| 区 分    | 女川町        |        |            |            | 圏域合計       |        |            |            |
|--------|------------|--------|------------|------------|------------|--------|------------|------------|
|        | 人 口<br>増減数 | 増減率    | 自 然<br>増減数 | 社 会<br>増減数 | 人 口<br>増減数 | 増減率    | 自 然<br>増減数 | 社 会<br>増減数 |
| 令和 2 年 | ▲ 184      | ▲ 2.87 | ▲ 61       | ▲ 123      | ▲ 2185     | ▲ 1.16 | ▲ 1506     | ▲ 679      |
| 令和 3 年 | ▲ 93       | ▲ 1.45 | ▲ 57       | ▲ 36       | ▲ 2350     | ▲ 1.27 | ▲ 1558     | ▲ 792      |
| 令和 4 年 | ▲ 164      | ▲ 2.59 | ▲ 86       | ▲ 78       | ▲ 2400     | ▲ 1.31 | ▲ 1735     | ▲ 665      |
| 令和 5 年 | ▲ 79       | ▲ 1.28 | ▲ 79       | 0          | ▲ 2706     | ▲ 1.50 | ▲ 1888     | ▲ 818      |
| 令和 6 年 | ▲ 75       | ▲ 1.23 | ▲ 80       | 5          | ▲ 2920     | ▲ 1.64 | ▲ 2038     | ▲ 882      |
| 平 均    | ▲ 119      | ▲ 1.88 | ▲ 73       | ▲ 46       | ▲ 2512     | ▲ 1.38 | ▲ 1745     | ▲ 767      |

※出典：住民基本台帳に基づく人口移動調査年報の概要（宮城県企画部統計課）  
（令和3年度以降は県推計人口年報）

#### ④ 転入元・転出先の状況（令和7年中）

転入・転出に伴う人口動態は、差引で945人減少しました。主な転出先については、東京圏で285人、宮城県内で418人、転出が転入を上回っています。

なお、宮城県内では、仙台市への人口流出が特に大きいほか、多賀城市、利府町、塩竈市及び大河原町への流出が目立っています。

（単位：人）

| 都道府県等<br>名（転入元・<br>転出先） | 石 巻 市 |       |       |        | 東 松 島 市 |       |       |        |
|-------------------------|-------|-------|-------|--------|---------|-------|-------|--------|
|                         | 転入    | 転出    | 差引    | 参考(R3) | 転入      | 転出    | 差引    | 参考(R3) |
| 総 数                     | 2,915 | 3,540 | △ 625 | △ 383  | 867     | 1,024 | △ 157 | △ 157  |
| （主な都道府県の移動先）            |       |       |       |        |         |       |       |        |
| 北海道                     | 46    | 52    | △ 6   | △ 12   | 14      | 28    | △ 14  | △ 14   |
| 青森県                     | 80    | 59    | 21    | 20     | 22      | 20    | 2     | 2      |
| 岩手県                     | 102   | 106   | △ 4   | △ 12   | 25      | 24    | 1     | 1      |
| 宮城県                     | 1,189 | 1,663 | △ 474 | △ 347  | 391     | 458   | △ 67  | △ 67   |
| 秋田県                     | 55    | 42    | 13    | △ 3    | 17      | 9     | 8     | 8      |
| 山形県                     | 62    | 67    | △ 5   | △ 14   | 12      | 30    | △ 18  | △ 18   |
| 福島県                     | 100   | 112   | △ 12  | △ 51   | 22      | 45    | △ 23  | △ 23   |
| 東京圏                     | 390   | 630   | △ 240 | △ 237  | 161     | 199   | △ 38  | △ 38   |
| （主な宮城県内の移動先）            |       |       |       |        |         |       |       |        |
| 仙台市                     | 549   | 907   | △ 358 | △ 358  | 129     | 259   | △ 130 | △ 56   |
| 多賀城                     | 37    | 108   | △ 71  | △ 59   | 17      | 44    | △ 27  | △ 22   |
| 利府                      | 18    | 48    | △ 30  | △ 32   | 13      | 11    | 2     | △ 3    |
| 塩釜                      | 32    | 60    | △ 28  | △ 11   | 9       | 27    | △ 18  | △ 17   |
| 名取                      | 37    | 71    | △ 34  | 7      | 5       | 16    | △ 11  | △ 1    |

（単位：人）

| 都道府県等<br>名（転入元・<br>転出先） | 女 川 町 |     |      |        | 合 計   |       |       |        |
|-------------------------|-------|-----|------|--------|-------|-------|-------|--------|
|                         | 転入    | 転出  | 差引   | 参考(R3) | 転入    | 転出    | 差引    | 参考(R3) |
| 総 数                     | 184   | 167 | 17   | 17     | 3,966 | 4,731 | △ 765 | △ 765  |
| （主な都道府県の移動先）            |       |     |      |        |       |       |       |        |
| 北海道                     | 2     | 1   | 1    | 2      | 62    | 81    | △ 19  | △ 18   |
| 青森県                     | 14    | 12  | 2    | 4      | 116   | 91    | 25    | 27     |
| 岩手県                     | 5     | 4   | 1    | 0      | 132   | 134   | △ 2   | △ 3    |
| 宮城県                     | 127   | 142 | △ 15 | 17     | 1,707 | 2,263 | △ 556 | △ 524  |
| 秋田県                     | 4     | 2   | 2    | 0      | 76    | 53    | 23    | 21     |
| 山形県                     | 6     | 1   | 5    | △ 3    | 80    | 98    | △ 18  | △ 26   |
| 福島県                     | 3     | 2   | 1    | 4      | 125   | 159   | △ 34  | △ 31   |
| 東京圏                     | 20    | 30  | △ 10 | △ 10   | 571   | 859   | △ 288 | △ 288  |
| （主な宮城県内の移動先）            |       |     |      |        |       |       |       |        |
| 仙台市                     | 34    | 46  | △ 12 | 1      | 712   | 1,212 | △ 500 | △ 413  |
| 多賀城                     | 3     | 4   | △ 1  | 5      | 57    | 156   | △ 99  | △ 88   |
| 利府                      | 1     | 3   | △ 2  | 3      | 32    | 62    | △ 30  | △ 30   |
| 塩釜                      | 2     | 4   | △ 2  | 2      | 43    | 91    | △ 48  | △ 43   |
| 名取                      | 3     | 6   | △ 3  | 6      | 45    | 93    | △ 48  | 12     |

※圏域内移動（例：石巻市から東松島市への転出等）を含まない。

※東京圏には、東京都、神奈川県、埼玉県及び千葉県の移動者を計上。

#### ⑤ 若年層の流出

石巻圏域における人口動態の大きな特徴としては、石巻市及び東松島市において若年層の流出率が高いことがあげられます。特に、15歳以上から減少が顕著に表れていることから、進学や就職による市外への流出が多いことが主な要因として考えられます。

| 石 巻 市  |      |      |        |        |        |        |        |        | (単位：％) |
|--------|------|------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 令和2年   | 0-4歳 | 5-9歳 | 10-14歳 | 15-19歳 | 20-24歳 | 25-29歳 | 30-34歳 |        |        |
| 男性の変化率 | 6.77 | 1.52 | 1.47   | △ 1.33 | △ 3.43 | △ 0.82 | 2.08   |        |        |
| 女性の変化率 | 6.38 | 0.70 | 2.03   | △ 1.07 | △ 3.43 | △ 2.67 | 2.80   |        |        |
| 令和7年   |      | 5-9歳 | 10-14歳 | 15-19歳 | 20-24歳 | 25-29歳 | 30-34歳 | 35-39歳 |        |

| 東 松 島 市 |      |        |        |         |        |        |        |        |  |
|---------|------|--------|--------|---------|--------|--------|--------|--------|--|
| 令和2年    | 0-4歳 | 5-9歳   | 10-14歳 | 15-19歳  | 20-24歳 | 25-29歳 | 30-34歳 |        |  |
| 男性の変化率  | 1.23 | △ 0.48 | 6.94   | △ 3.74  | △ 1.21 | △ 1.80 | 0.28   |        |  |
| 女性の変化率  | 4.59 | 2.51   | 0.46   | △ 11.28 | 5.23   | △ 0.95 | △ 1.09 |        |  |
| 令和7年    |      | 5-9歳   | 10-14歳 | 15-19歳  | 20-24歳 | 25-29歳 | 30-34歳 | 35-39歳 |  |

| 女 川 町  |        |        |        |        |         |         |         |        |  |
|--------|--------|--------|--------|--------|---------|---------|---------|--------|--|
| 令和2年   | 0-4歳   | 5-9歳   | 10-14歳 | 15-19歳 | 20-24歳  | 25-29歳  | 30-34歳  |        |  |
| 男性の変化率 | 6.45   | △ 1.25 | 8.89   | △ 9.94 | △ 6.59  | △ 26.00 | △ 10.80 |        |  |
| 女性の変化率 | △ 2.30 | △ 1.10 | 20.00  | 20.30  | △ 21.82 | △ 0.72  | △ 4.84  |        |  |
| 令和7年   |        | 5-9歳   | 10-14歳 | 15-19歳 | 20-24歳  | 25-29歳  | 30-34歳  | 35-39歳 |  |

※国勢調査のデータをもとに、令和2年と令和7年の年齢層の人口を比較した率を記載。各市町の男女別で最も減少が大きかった年代を着色している。（令和7年のデータは暫定的に住基情報）

⇒ 例えば、令和2年の「15-19歳」の人は、令和7年には「20-24歳」の年齢層になることから、それらの増減率を算出し、若年層の流出状況を推察。



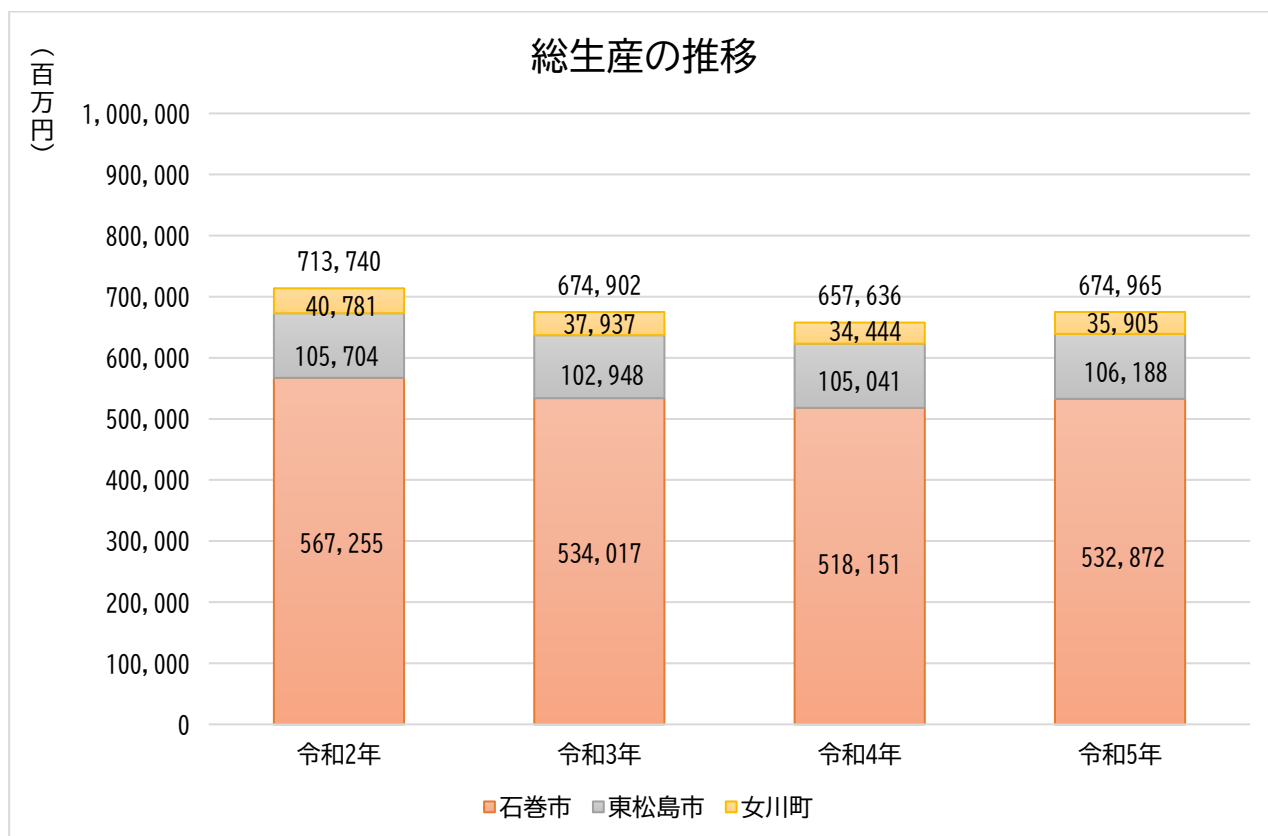
## (2) 圏域の総生産・所得

### ① 圏域の総生産

石巻圏域における総生産の合計は減少傾向にありましたが、令和5年には2市1町全てで生産額が増加しました。

(単位：百万円、%)

| 区 分  |      | 実 績 値   |         |         |         |
|------|------|---------|---------|---------|---------|
|      |      | 令和2年度   | 令和3年度   | 令和4年度   | 令和5年度   |
| 石巻市  | 総生産額 | 567,255 | 534,017 | 518,151 | 532,872 |
|      | 増減率  | —       | △ 5.86  | △ 2.97  | 2.84    |
| 東松島市 | 総生産額 | 105,704 | 102,948 | 105,041 | 106,188 |
|      | 増減率  | —       | △ 2.61  | 2.03    | 1.09    |
| 女川町  | 総生産額 | 40,781  | 37,937  | 34,444  | 35,905  |
|      | 増減率  | —       | △ 6.97  | △ 9.21  | 4.24    |
| 圏域合計 | 総生産額 | 713,740 | 674,902 | 657,636 | 674,965 |
|      | 増減率  | —       | △ 5.44  | △ 2.56  | 2.64    |



※出典：令和5年宮城県市町村民経済計算（宮城県企画部統計課）

※上記「総生産」は、宮城県において各種統計指標により推計した数値を計上。

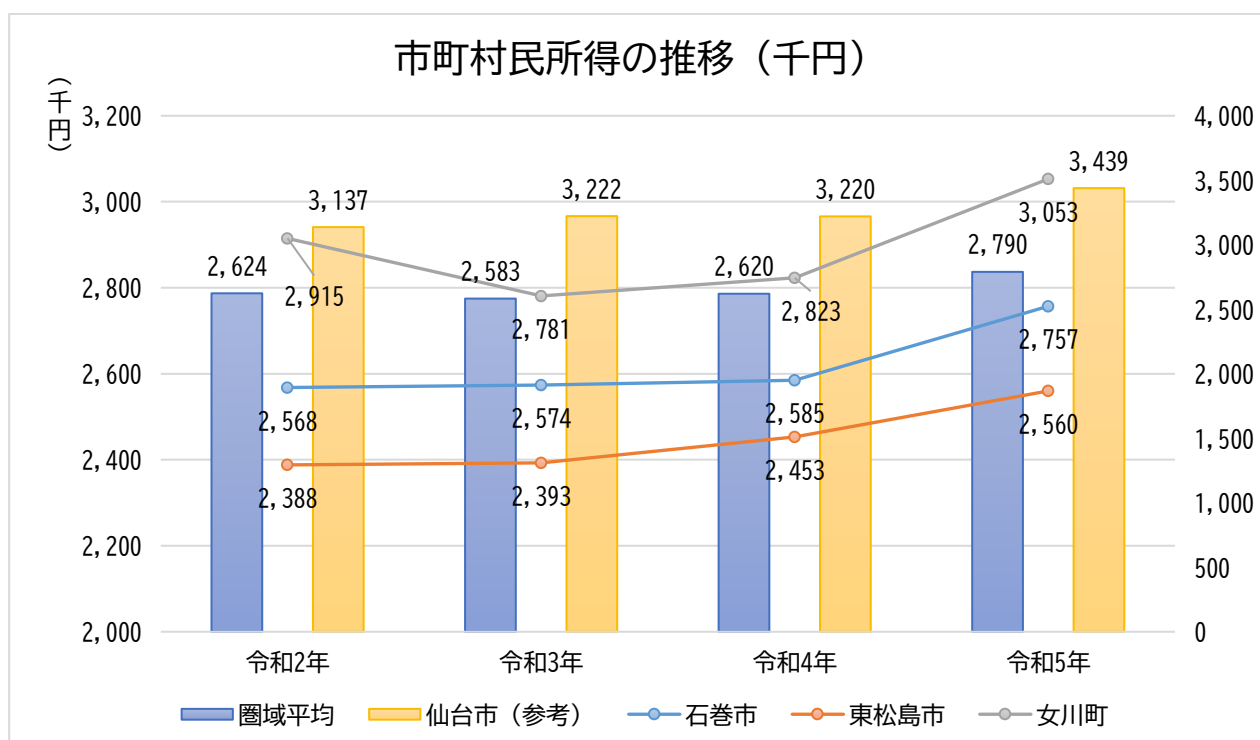
※総生産とは、1年間に生産された「モノ」について、新たに生み出された価格（産出額）から原材料費などの中間投入を差し引いた合計額を計上。

## ② 圏域の市町民所得

石巻圏域における市町民所得は、令和4年度までは横ばいでしたが、令和5年度に大きく上昇しました。しかし、仙台市と比較すると、圏域の平均所得は低い状況が続いています。

(単位：千円、%)

| 区 分         |          | 実 績 値 |        |        |       |
|-------------|----------|-------|--------|--------|-------|
|             |          | 令和2年度 | 令和3年度  | 令和4年度  | 令和5年度 |
| 石巻市         | 1人当たりの所得 | 2,568 | 2,574  | 2,585  | 2,757 |
|             | 増減率      | -     | 0.23   | 0.43   | 6.65  |
| 東松島市        | 1人当たりの所得 | 2,388 | 2,393  | 2,453  | 2,560 |
|             | 増減率      | -     | 0.21   | 2.51   | 4.36  |
| 女川町         | 1人当たりの所得 | 2,915 | 2,781  | 2,823  | 3,053 |
|             | 増減率      | -     | △ 4.60 | 1.51   | 8.15  |
| 圏域平均        | 1人当たりの所得 | 2,542 | 2,543  | 2,565  | 2,725 |
|             | 増減率      | -     | 0.04   | 0.87   | 6.24  |
| 仙台市<br>(参考) | 1人当たりの所得 | 3,137 | 3,222  | 3,220  | 3,439 |
|             | 増減率      | -     | 2.71   | △ 0.06 | 6.80  |



※出典：令和5年宮城県市町村民経済計算（宮城県企画部統計課）

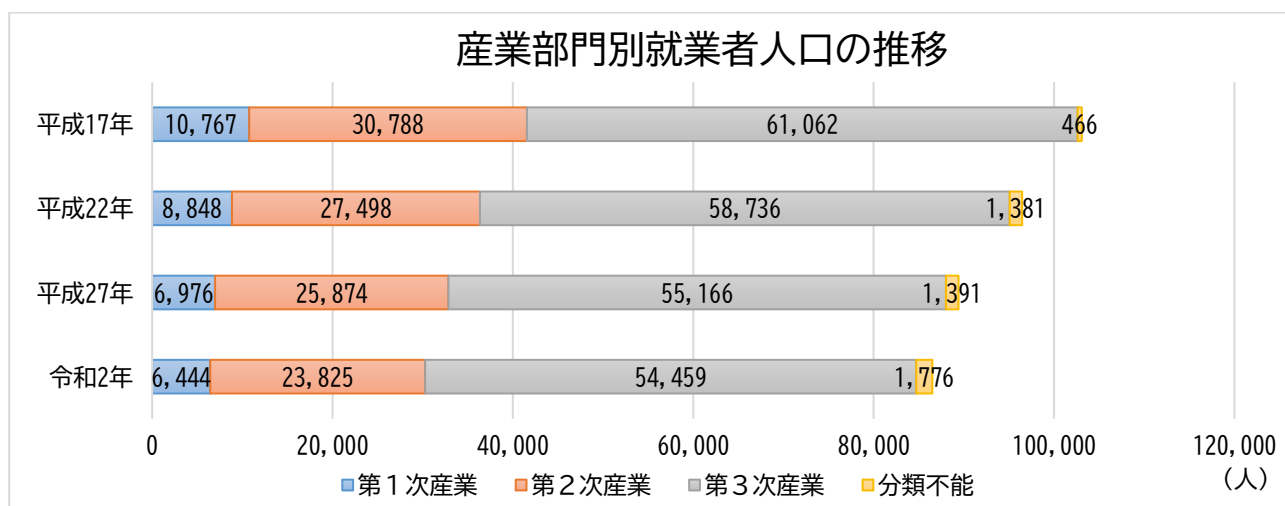
(3) 圏域における産業の概況

① 産業部門別就業者人口の推移 (R8.7未更新)

産業三部門にかかる就業者人口の推移は、圏域の合計では、近年いずれの部門においても減少傾向にあります。特に、第1次産業及び第2次産業の就業者人口が著しい減少を示しています。

(単位：人、%)

| 区 分   |         |       | 実 績 値   |         |         |         |
|-------|---------|-------|---------|---------|---------|---------|
|       |         |       | 平成 17 年 | 平成 22 年 | 平成 27 年 | 令和 2 年  |
| 石 巻 市 | 第 1 次産業 | 実 数   | 7,813   | 6,282   | 5,165   | 4,702   |
|       |         | 増 減 率 | —       | △ 19.60 | △ 17.78 | △ 8.96  |
|       | 第 2 次産業 | 実 数   | 23,523  | 20,850  | 19,669  | 18,341  |
|       |         | 増 減 率 | —       | △ 11.36 | △ 5.66  | △ 6.75  |
|       | 第 3 次産業 | 実 数   | 45,618  | 43,158  | 41,297  | 40,445  |
|       |         | 増 減 率 | —       | △ 5.39  | △ 4.31  | △ 2.06  |
|       | 分 類 不 能 | 実 数   | 455     | 1,333   | 1,326   | 1,705   |
|       |         |       |         |         |         |         |
| 東松島市  | 第 1 次産業 | 実 数   | 2,116   | 1,819   | 1,444   | 1,325   |
|       |         | 増 減 率 | —       | △ 14.04 | △ 20.62 | △ 8.24  |
|       | 第 2 次産業 | 実 数   | 5,470   | 5,054   | 4,850   | 4,385   |
|       |         | 増 減 率 | —       | △ 7.61  | △ 4.04  | △ 9.59  |
|       | 第 3 次産業 | 実 数   | 12,767  | 13,012  | 12,209  | 12,206  |
|       |         | 増 減 率 | —       | 1.92    | △ 6.17  | △ 0.02  |
|       | 分 類 不 能 | 実 数   | 10      | 22      | 59      | 65      |
|       |         |       |         |         |         |         |
| 女 川 町 | 第 1 次産業 | 実 数   | 838     | 747     | 367     | 417     |
|       |         | 増 減 率 | —       | △ 10.86 | △ 50.87 | 13.62   |
|       | 第 2 次産業 | 実 数   | 1,795   | 1,594   | 1,355   | 1,099   |
|       |         | 増 減 率 | —       | △ 11.20 | △ 14.99 | △ 18.89 |
|       | 第 3 次産業 | 実 数   | 2,677   | 2,566   | 1,660   | 1,808   |
|       |         | 増 減 率 | —       | △ 4.15  | △ 35.31 | 8.92    |
|       | 分 類 不 能 | 実 数   | 1       | 26      | 6       | 6       |
|       |         |       |         |         |         |         |
| 圏域合計  | 第 1 次産業 | 実 数   | 10,767  | 8,848   | 6,976   | 6,444   |
|       |         | 増 減 率 | —       | △ 17.82 | △ 21.16 | △ 7.63  |
|       | 第 2 次産業 | 実 数   | 30,788  | 27,498  | 25,874  | 23,825  |
|       |         | 増 減 率 | —       | △ 10.69 | △ 5.91  | △ 7.92  |
|       | 第 3 次産業 | 実 数   | 61,062  | 58,736  | 55,166  | 54,459  |
|       |         | 増 減 率 | —       | △ 3.81  | △ 6.08  | △ 1.28  |
|       | 分 類 不 能 | 実 数   | 466     | 1,381   | 1,391   | 1,776   |
|       | 合 計     | 実 数   | 103,083 | 96,463  | 89,407  | 86,504  |
|       |         | 増 減 率 | —       | △ 6.42  | △ 7.31  | △ 3.25  |
|       |         |       |         |         |         |         |



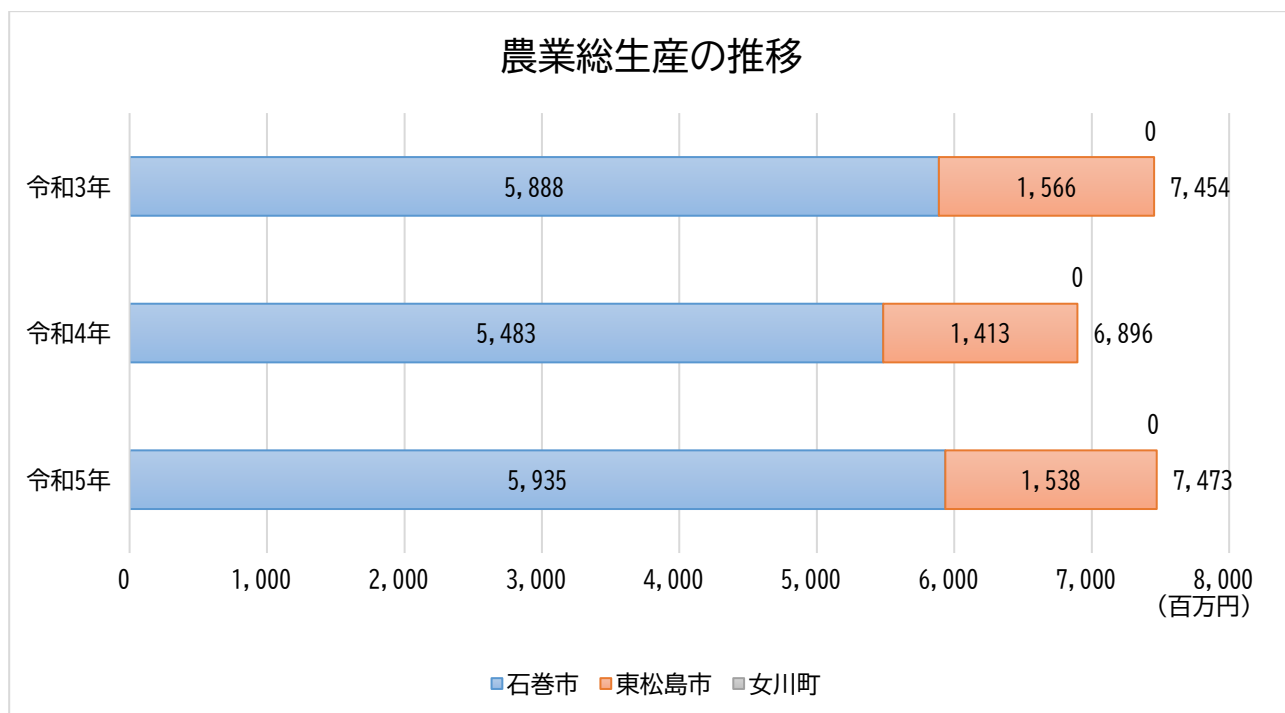
※出典：国勢調査 平成17年～令和2年（総務省）

## ② 農業総生産の推移

石巻圏域における農業に係る総生産の推移は、減少の傾向が続いていましたが、令和5年度は増加に転じました。また、女川町は0が続いています。

（単位：百万円、％）

| 区 分   |     | 総 生 産 |        |       |
|-------|-----|-------|--------|-------|
|       |     | 令和3年  | 令和4年   | 令和5年  |
| 石 巻 市 | 実 数 | 5,888 | 5,483  | 5,935 |
|       | 増減率 | －     | △ 6.88 | 8.24  |
| 東松島市  | 実 数 | 1,566 | 1,413  | 1,538 |
|       | 増減率 | －     | △ 9.77 | 8.85  |
| 女 川 町 | 実 数 | 0     | 0      | 0     |
|       | 増減率 | －     | －      | －     |
| 圏域合計  | 実 数 | 7,454 | 6,896  | 7,473 |
|       | 増減率 | －     | △ 7.49 | 8.37  |



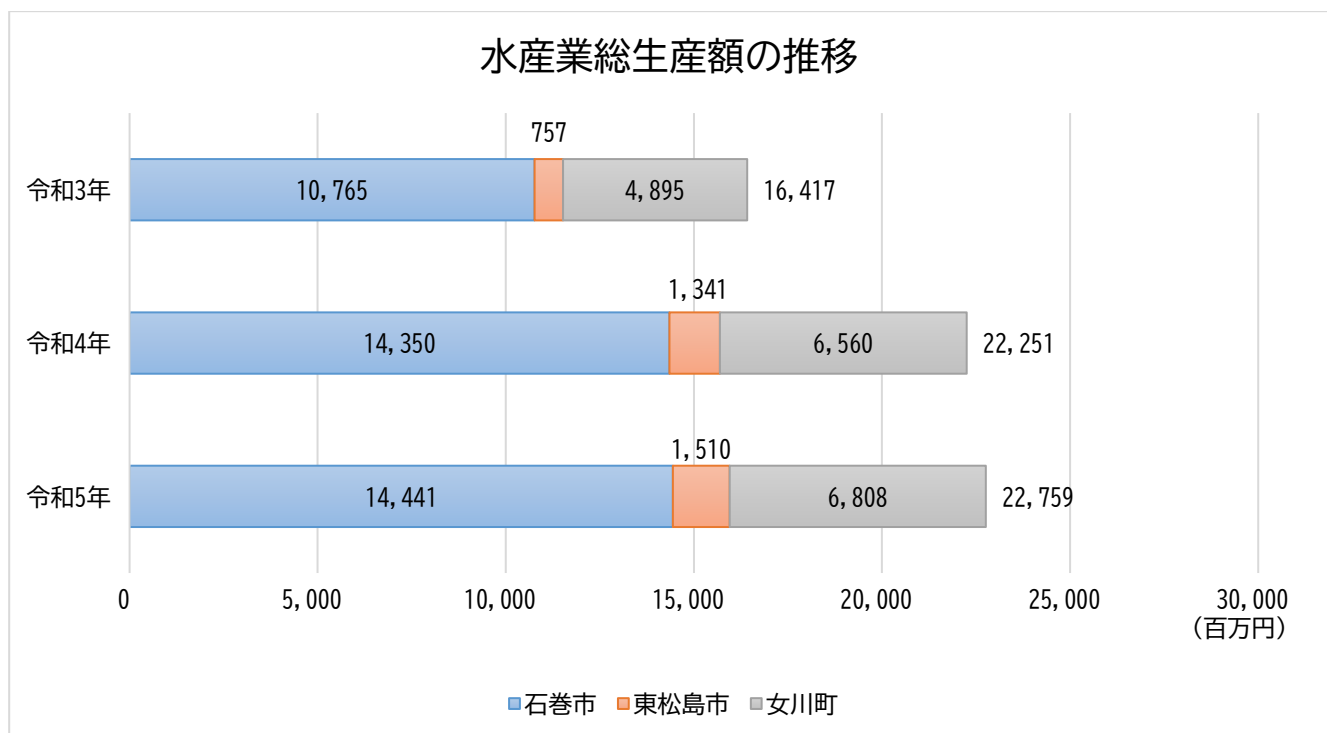
※出典：令和5年宮城県市町村民経済計算（宮城県企画部統計課）

### ③ 水産業総生産の推移

石巻圏域における水産業に係る総生産の推移は、減少の傾向が続いています。

（単位：百万円、%）

| 区 分  |     | 総 生 産  |        |        |
|------|-----|--------|--------|--------|
|      |     | 令和3年   | 令和4年   | 令和5年   |
| 石巻市  | 実数  | 10,765 | 14,350 | 14,441 |
|      | 増減率 | —      | 33.30  | 0.63   |
| 東松島市 | 実数  | 757    | 1,341  | 1,510  |
|      | 増減率 | —      | 77.15  | 12.60  |
| 女川町  | 実数  | 4,895  | 6,560  | 6,808  |
|      | 増減率 | —      | 34.01  | 3.78   |
| 圏域合計 | 実数  | 16,417 | 22,251 | 22,759 |
|      | 増減率 | —      | 35.54  | 2.28   |



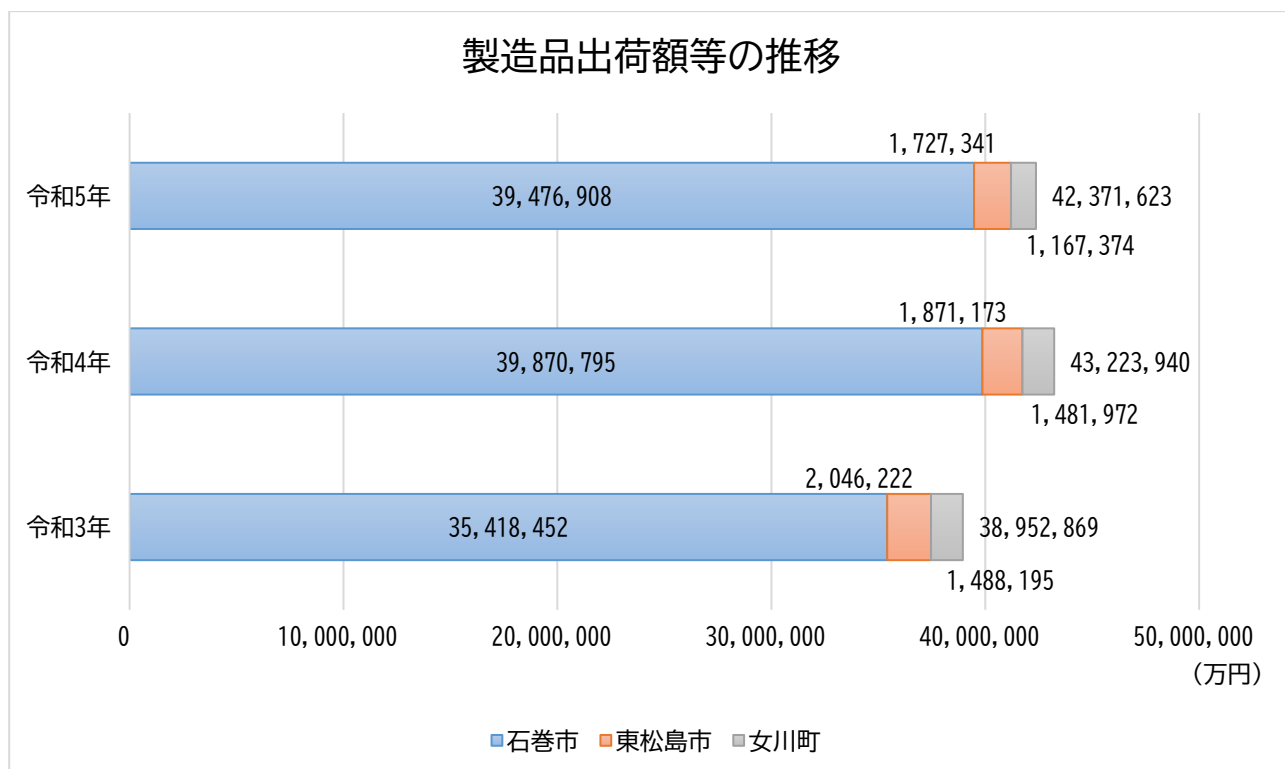
※出典：令和5年宮城県市町村民経済計算（宮城県企画部統計課）

#### ④ 製造品出荷額等の推移

石巻圏域における製造品出荷額等は、9割程度を石巻市が占めています。令和4年は、石巻医師の生産額が大きく増加したことにより、圏域としても増加しましたが、令和5年は、2市1町すべてで前年に比べ出荷額は減少しました。

（単位：万円、％）

| 区 分  |       | 製造品出荷額等（従業者4人以上の事業所） |            |            |
|------|-------|----------------------|------------|------------|
|      |       | 令和3年                 | 令和4年       | 令和5年       |
| 石巻市  | 金 額   | 35,418,452           | 39,870,795 | 39,476,908 |
|      | 増 減 率 | —                    | 12.57      | -0.99      |
| 東松島市 | 金 額   | 2,046,222            | 1,871,173  | 1,727,341  |
|      | 増 減 率 | —                    | -8.55      | △ 7.69     |
| 女川町  | 金 額   | 1,488,195            | 1,481,972  | 1,167,374  |
|      | 増 減 率 | —                    | △ 0.42     | △ 21.23    |
| 圏域合計 | 金 額   | 38,952,869           | 43,223,940 | 42,371,623 |
|      | 増 減 率 | —                    | 10.96      | -1.97      |



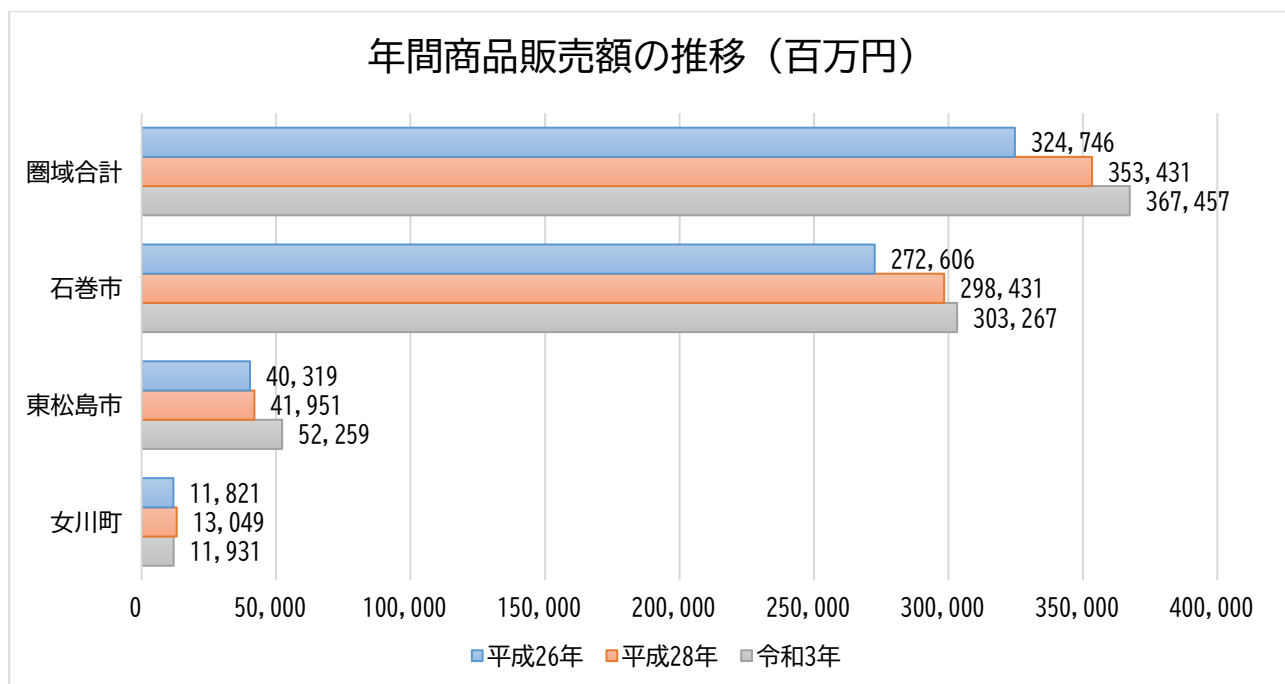
※出典：経済構造実態調査（経済産業省）

#### ⑤ 年間商品販売額の推移

石巻圏域における年間商品販売額の推移は下表のとおりであり、圏域全体の販売額は増加傾向にあります。

(単位：百万円、%)

| 区 分   |       | 年間商品販売額 |         |         |
|-------|-------|---------|---------|---------|
|       |       | 平成 26 年 | 平成 28 年 | 令和 3 年  |
| 石 巻 市 | 金 額   | 272,606 | 298,431 | 303,267 |
|       | 増 減 率 | —       | 9.47    | 1.62    |
| 東松島市  | 金 額   | 40,319  | 41,951  | 52,259  |
|       | 増 減 率 | —       | 4.05    | 24.57   |
| 女 川 町 | 金 額   | 11,821  | 13,049  | 11,931  |
|       | 増 減 率 | —       | 10.39   | -8.57   |
| 圏域合計  | 金 額   | 324,746 | 353,431 | 367,457 |
|       | 増 減 率 | —       | 8.83    | 3.97    |



※出典：平成26年宮城県の商業、平成28年、令和3年経済センサス-活動調査確報集計結果〈宮城県の概要〉（宮城県企画部統計課）



## ⑥ 観光客入込数・宿泊観光客数の推移

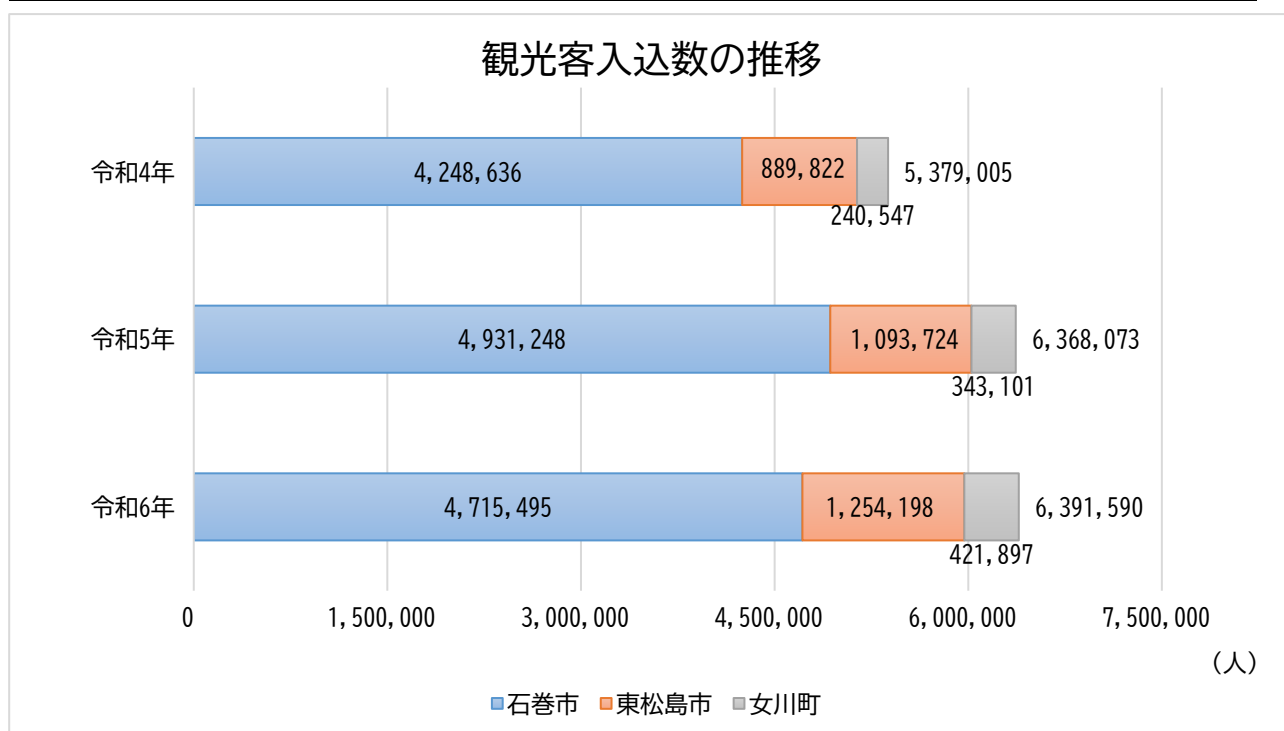
石巻圏域における観光客の入込数は、令和5年には新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い増加しましたが、令和6年は石巻市の観光客数が減少し、東松島市、女川町の観光客数が増加しています。

また、宿泊観光客数については、令和5年は観光客入込数と同様に大きく増加していますが、6年は東松島市の宿泊客数が減少し、石巻市と女川町は横ばいとなっています。

### ア 観光客入込数の推移

(単位：人、%)

| 区 分   |       | 実 績 数     |           |           |
|-------|-------|-----------|-----------|-----------|
|       |       | 令和4年      | 令和5年      | 令和6年      |
| 石 巻 市 | 入 込 数 | 4,248,636 | 4,931,248 | 4,715,495 |
|       | 増 減 率 | —         | 16.07     | △ 4.38    |
| 東松島市  | 入 込 数 | 889,822   | 1,093,724 | 1,254,198 |
|       | 増 減 率 | —         | 22.91     | 14.67     |
| 女 川 町 | 入 込 数 | 240,547   | 343,101   | 421,897   |
|       | 増 減 率 | —         | 42.63     | 22.97     |
| 圏域合計  | 入 込 数 | 5,379,005 | 6,368,073 | 6,391,590 |
|       | 増 減 率 | —         | 18.39     | 0.37      |

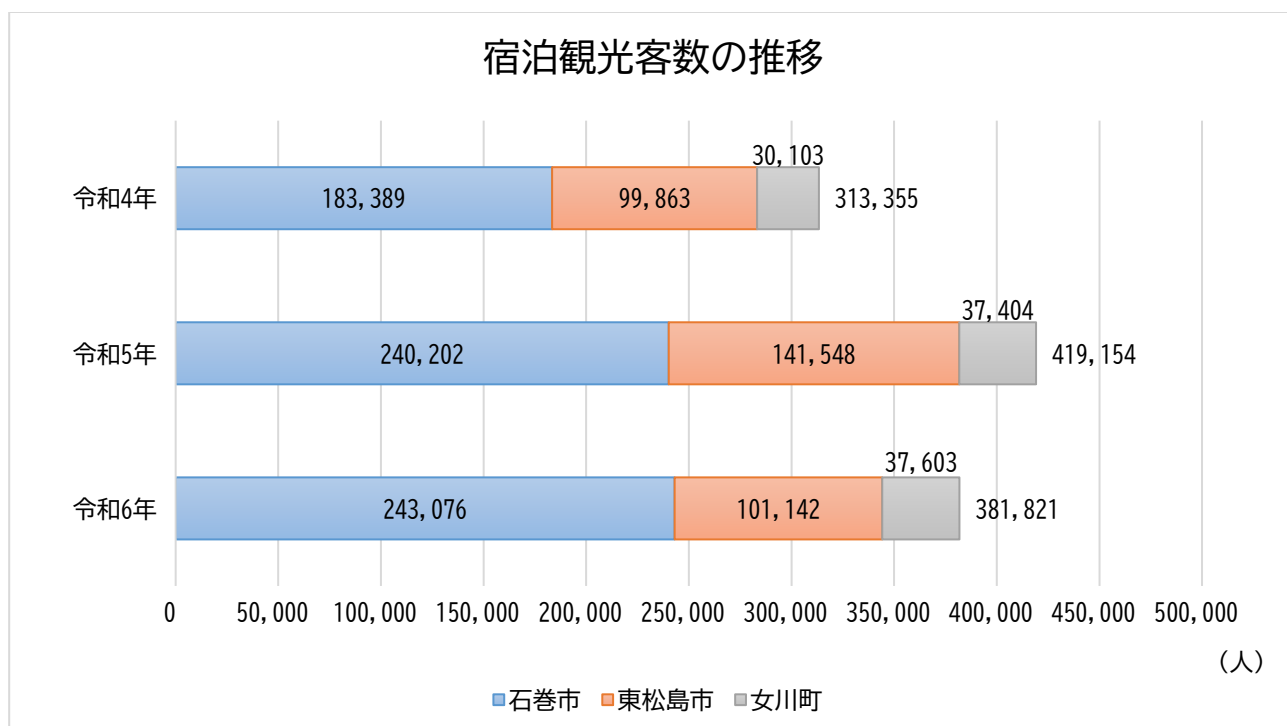


※出典：観光統計概要 令和6年（宮城県経済商工観光部観光課）

イ 宿泊観光客数の推移

(単位：人、%)

| 区 分   |        | 実 績 数   |         |         |
|-------|--------|---------|---------|---------|
|       |        | 令和 4 年  | 令和 5 年  | 令和 6 年  |
| 石 巻 市 | 宿泊観光客数 | 183,389 | 240,202 | 243,076 |
|       | 増 減 率  | —       | 30.98   | 1.20    |
| 東松島市  | 宿泊観光客数 | 99,863  | 141,548 | 101,142 |
|       | 増 減 率  | —       | 41.74   | △ 28.55 |
| 女 川 町 | 宿泊観光客数 | 30,103  | 37,404  | 37,603  |
|       | 増 減 率  | —       | 24.25   | 0.53    |
| 圏域合計  | 宿泊観光客数 | 313,355 | 419,154 | 381,821 |
|       | 増 減 率  | —       | 33.76   | △ 8.91  |



※出典：観光統計概要 令和 6 年（宮城県経済商工観光部観光課）

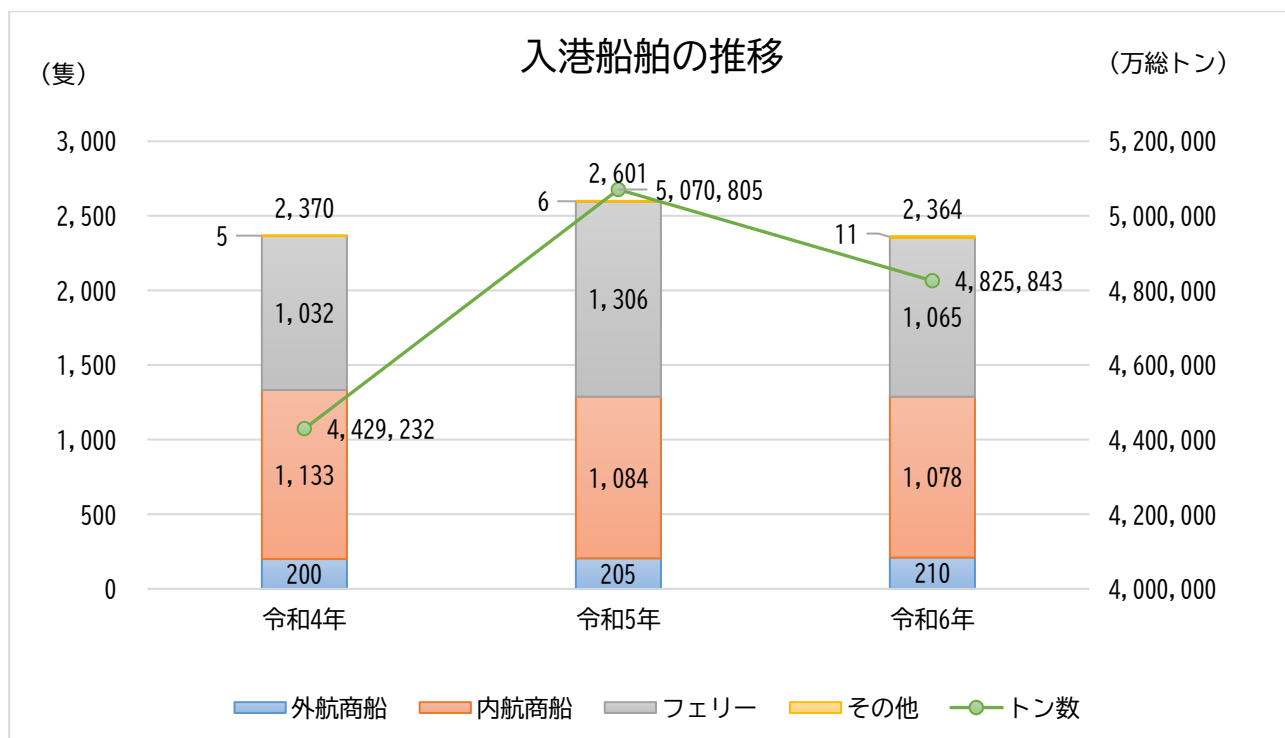
⑦ 仙台塩釜港石巻港区の利用状況

入港船舶の推移は、外航船（外国航路を行き来する大型船舶）の隻数が横ばいとなっている一方、内航船（内国航路を航行する船舶）は減少傾向にあります。また、船舶の総トン数は、1隻当たりの数値が大きい外航船の入籍数がほぼ横ばいであることから、席数の減少に比べ減少幅が

小さくなっています。

(単位：隻、トン、%)

| 区 分   |       | 入港船舶数     |           |           |
|-------|-------|-----------|-----------|-----------|
|       |       | 令和4年      | 令和5年      | 令和6年      |
| 外 航 船 | 隻 数   | 200       | 205       | 210       |
|       | 増 減 率 | —         | 2.50      | 2.44      |
|       | 総トン数  | 3,575,924 | 4,146,866 | 3,972,216 |
|       | 増 減 率 | —         | 15.97     | △ 4.21    |
| 内 航 船 | 隻 数   | 1,133     | 1,084     | 1,078     |
|       | 増 減 率 | —         | △ 4.32    | △ 0.55    |
|       | 総トン数  | 734,605   | 773,795   | 727,834   |
|       | 増 減 率 | —         | 5.33      | △ 5.94    |
| フェリー  | 隻 数   | 1,032     | 1,306     | 1,065     |
|       | 増 減 率 | —         | 26.55     | △ 18.45   |
|       | 総トン数  | 113,884   | 144,366   | 117,481   |
|       | 増 減 率 | —         | 26.77     | △ 18.62   |
| その他   | 隻 数   | 5         | 6         | 11        |
|       | 増 減 率 | —         | 20.00     | 83.33     |
|       | 総トン数  | 4,819     | 5,778     | 8,312     |
|       | 増 減 率 | —         | 19.90     | 43.86     |
| 合 計   | 隻 数   | 2,370     | 2,601     | 2,364     |
|       | 増 減 率 | —         | 9.75      | △ 9.11    |
|       | 総トン数  | 4,429,232 | 5,070,805 | 4,825,843 |
|       | 増 減 率 | —         | 14.48     | △ 4.83    |



※出典：令和6年 入港船舶の推移（国土交通省東北地方整備局港湾空港部）

## 4 圏域の結びつき

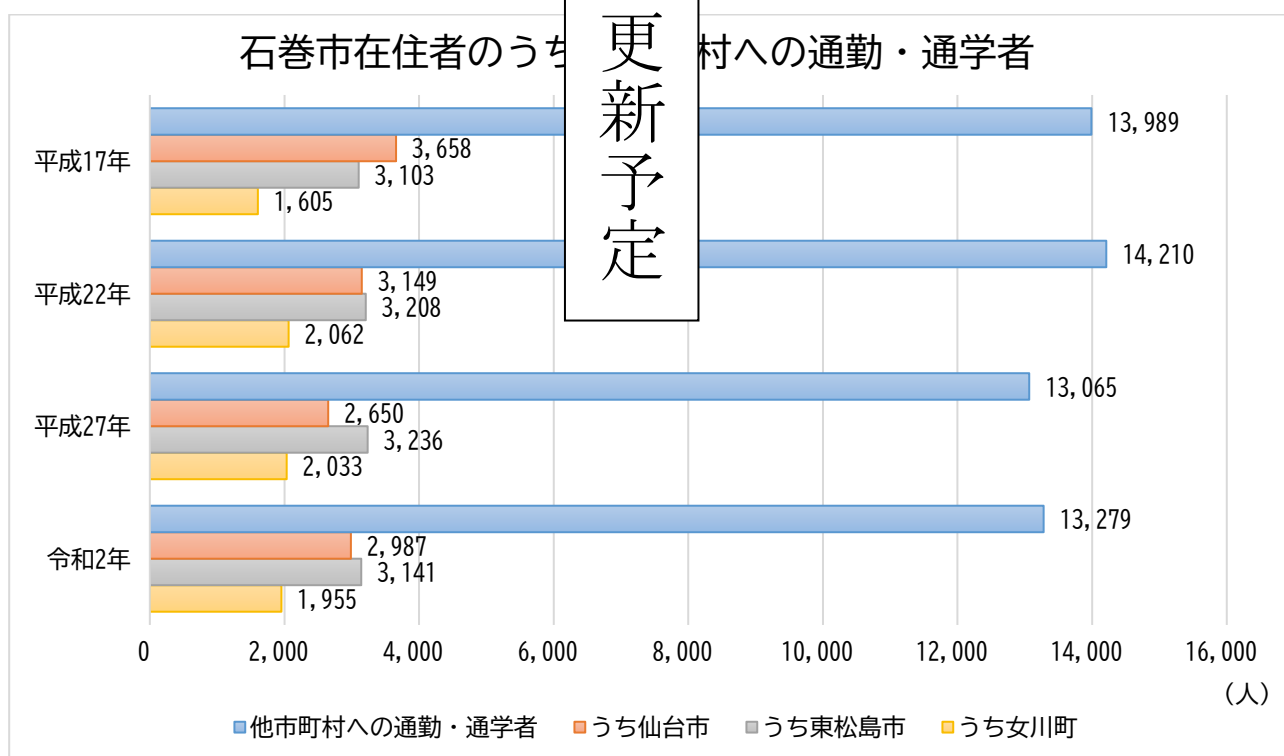
### (1) 通勤者・通学者の流動状況 (R8.7未更新)

#### ① 石巻市在住者のうち他市町村に通勤・通学している人数

人口及び他市町村への通勤・通学者が減少している中、東松島市への通勤・通学者は若干増加の傾向にあります。

(単位：人)

| 区 分              | 平成 17 年 | 平成 22 年 | 平成 27 年 | 令和 2 年  |
|------------------|---------|---------|---------|---------|
| 国勢調査人口           | 167,324 | 160,826 | 147,214 | 140,151 |
| 他市町村への<br>通勤・通学者 | 13,989  | 14,210  | 13,065  | 13,279  |
| うち仙台市            | 3,658   | 3,149   | 2,650   | 2,987   |
| うち東松島市           | 3,103   | 3,208   | 3,236   | 3,141   |
| うち女川町            | 1,605   | 2,062   | 2,033   | 1,955   |



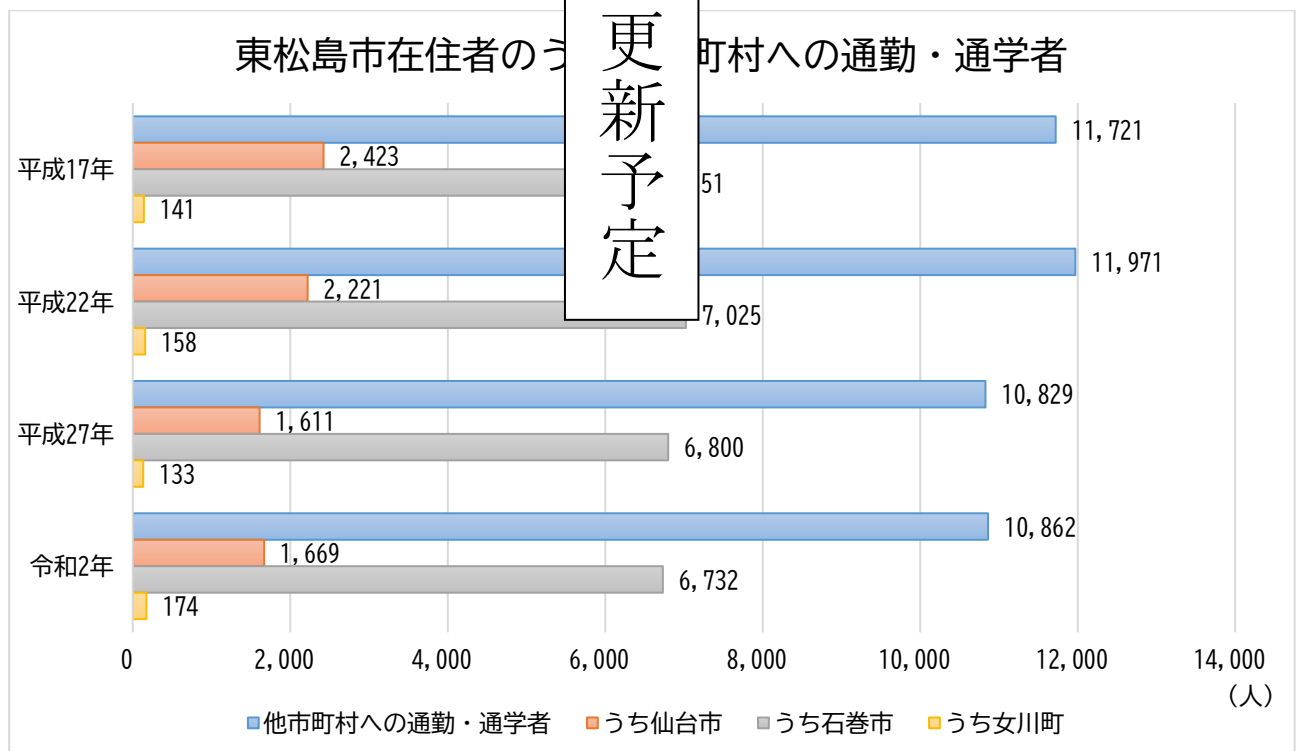
※出典：国勢調査 平成17年～令和2年 (総務省)

## ② 東松島市在住者のうち他市町村に通勤・通学している人数

令和2年では、その約62%が石巻市へ、約15%が仙台市へ通勤・通学しています。

(単位：人)

| 区 分              | 平成 17 年 | 平成 22 年 | 平成 27 年 | 令和 2 年 |
|------------------|---------|---------|---------|--------|
| 国勢調査人口           | 43,235  | 42,903  | 39,503  | 39,098 |
| 他市町村への<br>通勤・通学者 | 11,721  | 11,971  | 10,829  | 10,862 |
| うち仙台市            | 2,423   | 2,221   | 1,611   | 1,669  |
| うち石巻市            | 6,551   | 7,025   | 6,800   | 6,732  |
| うち女川町            | 141     | 158     | 133     | 174    |



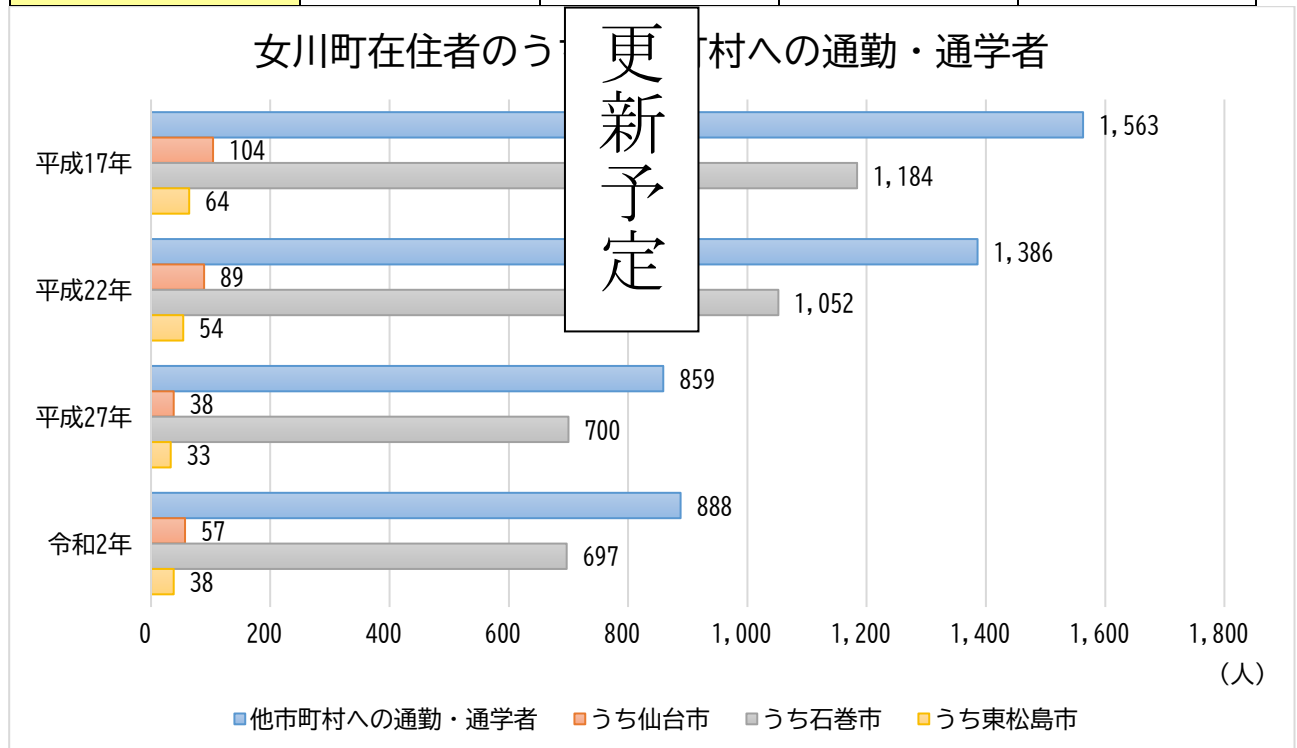
※出典：国勢調査 平成17年～令和2年 (総務省)

③ 女川町在住者のうち他市町村に通勤・通学している人数

令和2年では、約78%が石巻市へ通勤・通学しています。

(単位：人)

| 区 分              | 平成 17 年 | 平成 22 年 | 平成 27 年 | 令和 2 年 |
|------------------|---------|---------|---------|--------|
| 国勢調査人口           | 10,723  | 10,051  | 6,334   | 6,430  |
| 他市町村への<br>通勤・通学者 | 1,563   | 1,386   | 859     | 888    |
| うち仙台市            | 104     | 89      | 38      | 57     |
| うち石巻市            | 1,184   | 1,052   | 700     | 697    |
| うち東松島市           | 64      | 54      | 33      | 38     |



※出典：国勢調査 平成17年～令和2年 (総務省)

## (2) 医療機関の状況

### ① 病院・診療所、歯科診療所数

(単位：箇所)

| 市町名  | 病院数 | 診療所数 | 歯科診療所数 | 救急告示医療機関数 |
|------|-----|------|--------|-----------|
| 石巻市  | 8   | 95   | 59     | 4         |
| 東松島市 | 2   | 23   | 14     | 2         |
| 女川町  | 0   | 3    | 2      | 0         |
| 圏域合計 | 10  | 121  | 75     | 6         |

※出典：宮城県病院名簿、宮城県診療所名簿 令和7年10月1日現在（宮城県保健福祉部医療政策課）  
※休止中の診療所を除く

### ② 病院・診療所における病床数

(単位：床)

| 市町名  | 病院病床数 | 内療養病床 | 診療所病床数 | 内療養病床 |
|------|-------|-------|--------|-------|
| 石巻市  | 1,684 | 411   | 55     | 10    |
| 東松島市 | 259   | 91    | 16     | 0     |
| 女川町  | 0     | 0     | 15     | 0     |
| 圏域合計 | 1,943 | 502   | 86     | 10    |

※出典：宮城県病院名簿、宮城県診療所名簿 令和7年10月1日現在（宮城県保健福祉部医療政策課）  
※休止中の診療所を除く

### ③ 医療従事者数

(単位：人)

| 区 分              | 医 師 数 |            | 歯科医師数 |            | 薬剤師数 |            | 看護師数  |            | 准看護師数 |            |
|------------------|-------|------------|-------|------------|------|------------|-------|------------|-------|------------|
|                  |       | 人口<br>10万対 |       | 人口<br>10万対 |      | 人口<br>10万対 |       | 人口<br>10万対 |       | 人口<br>10万対 |
| 石巻・登米・<br>気仙沼医療圏 | 569   | 169.8      | 176   | 52.5       | 515  | 167.4      | 2,880 | 885.9      | 1,206 | 345.3      |

※出典：第8次宮城県地域医療計画 令和6年4月（令和2年12月31日現在）（宮城県保健福祉部医療政策課）、医師・歯科医師・薬剤師統計（令和2年12月現在）

## (3) 教育施設

### ① 学校数

(単位：箇所)

| 区 分       | 施 設 数 |      |     |      |
|-----------|-------|------|-----|------|
|           | 石巻市   | 東松島市 | 女川町 | 圏域内計 |
| 大 学       | 1     | —    | —   | 1    |
| 高 校       | 8     | 3    | —   | 11   |
| 公 立 幼 稚 園 | 2     | —    | —   | 2    |
| 私 立 幼 稚 園 | 8     | 3    | —   | 11   |

※令和8年6月1日現在



② 石巻専修大学 学生数の推移

(単位:人)

| 学部 | 学科       | 学位    | 入学定員 | 収容定員  | 学生数   |       |
|----|----------|-------|------|-------|-------|-------|
| 理工 | 食環境      | 工学    | —    | 120   | 0     | (0)   |
|    | 生物科      | 理学    | 91   | 256   | 357   | (82)  |
|    | 機械工      | 工学    | 40   | 160   | 71    | (4)   |
|    | 情報電子工    | 工学    | 39   | 144   | 106   | (13)  |
|    | 計        |       | 170  | 680   | 534   | (99)  |
| 経営 | 経営       | 経営学   | 145  | 670   | 387   | (36)  |
|    | 情報マネジメント | 経営学   | 45   | 90    | 85    | (3)   |
|    | 計        |       | 190  | 760   | 472   | (39)  |
| 人間 | 人間文化     | 人間文化学 | 40   | 160   | 103   | (34)  |
|    | 人間教育     | 人間教育学 | 40   | 160   | 86    | (52)  |
|    | 計        |       | 80   | 320   | 189   | (86)  |
| 合計 |          |       | 440  | 1,760 | 1,195 | (224) |

※石巻市統計書（令和7年5月1日現在）

③ 文化・スポーツ施設等

(単位:箇所)

| 区 分         | 施 設 数    |      |       |      |
|-------------|----------|------|-------|------|
|             | 石巻市      | 東松島市 | 女川町   | 圏域内計 |
| 文 化 施 設     | 3        | 1    | 0     | 4    |
| ス ポ ー ツ 施 設 | 24       | 10   | 2     | 36   |
| 社 会 教 育 施 設 | 15       | 24   | 2     | 41   |
| 図 書 館       | 7（うち分館6） | 1    | （図書室） | 8    |

※令和8年現在

### (3) 福祉施設

#### ① 保健福祉施設の状況

(単位：箇所)

| 区 分      | 施 設 数 |      |     |      |
|----------|-------|------|-----|------|
|          | 石巻市   | 東松島市 | 女川町 | 圏域内計 |
| 老人福祉施設等  | 207   | 54   | 6   | 267  |
| 介護事業所施設等 | 19    | 2    | 2   | 23   |
| 障害者支援施設等 | 99    | 22   | 3   | 124  |
| 児童福祉施設等  | 41    | 10   | 2   | 65   |
| その他の施設   | 7     | 2    | 2   | 11   |
| 計        | 373   | 90   | 15  | 490  |

※出典：宮城県HP

### (4) 交通

#### ミヤコーバス路線の状況

| 市町名  | 路線数 | 便 数     | うち中心市を起終点とする<br>便数 |
|------|-----|---------|--------------------|
| 石巻市  | 12  | 133 便／日 | 全 便                |
| 東松島市 | －   | －       | －                  |
| 女川町  | 1   | 9 便／日   | 全 便                |

※令和7年度実績数

## 第2章 定住自立圏の将来像

## 1 圏域づくりの基本的方向性

本圏域の人口は、全国的に進む少子高齢化による影響に加え、東日本大震災による他圏域への転出なども相まって、近年では減少の一途をたどっています。

人口減少は、経済の縮小や労働力の低下など様々な影響を及ぼし、ひいては地域の活力自体の低下につながることから、今後、本圏域が持続可能な圏域として将来にわたって持続していくためには、「住民が引き続き本圏域に暮らしていくための施策」、「他圏域から人を呼び込むための施策」が重要となってきます。

このことから、各市町が有する「機能」、「資源」を有効活用し、圏域住民が安心して暮らし続けることができる「石巻圏域定住自立圏」の形成に取り組みます。

圏域の住民が安全で安心して健康に暮らし、豊かな生活を送るためには、医療福祉、教育、公共交通機能の充実などが必要です。

また、豊かな地域社会を形成するためには、利便性の高い地域公共交通の維持・構築、子育て支援の充実、教育・文化機能の確保などが必要です。

関係機関や団体等との連携を図り、取り組みを進めていくことにより、圏域内で安全・安心に暮らし続けることのできる生活機能の確保に取り組みます。

県北東部の拠点地域として今後も本圏域住民の豊かな生活基盤を形成するためには、第1次産業から第3次産業までバランスの取れた産業をさらに発展させ、多様な就業の場を確保していく必要があります。

このため、風光明媚な景観、豊かな自然や食などの他圏域にはない独自の地域資源を活かした広域観光を推進するとともに、圏域市町で連携して企業立地の促進に取り組みます。

また、担い手不足や海洋環境の変化に伴う水産資源の減少など、第1次産業を取り巻く環境の変化への対応をはじめ、圏域で共通する課題の解決に努め、圏域の産業振興に取り組みます。

圏域の活力維持のためには、人口減少を抑制することが必要です。

このため、本圏域の魅力を積極的に発信するとともに、住みよい圏域づくりを推進し、本圏域への移住定住の促進に取り組みます。

また、他圏域との連携や交流の推進は、経済、医療、文化などのあらゆる面で不可

欠であり、本圏域で不足している都市機能を補うために道路ネットワークの整備促進に取り組めます。

新型コロナウイルス感染症の拡大は、国全体としてデジタル化の遅れが表面化し、さらには「新たな日常」の原動力として、制度や組織の在り方等をデジタル化に合わせて変革していく、デジタルトランスフォーメーションの推進が求められています。

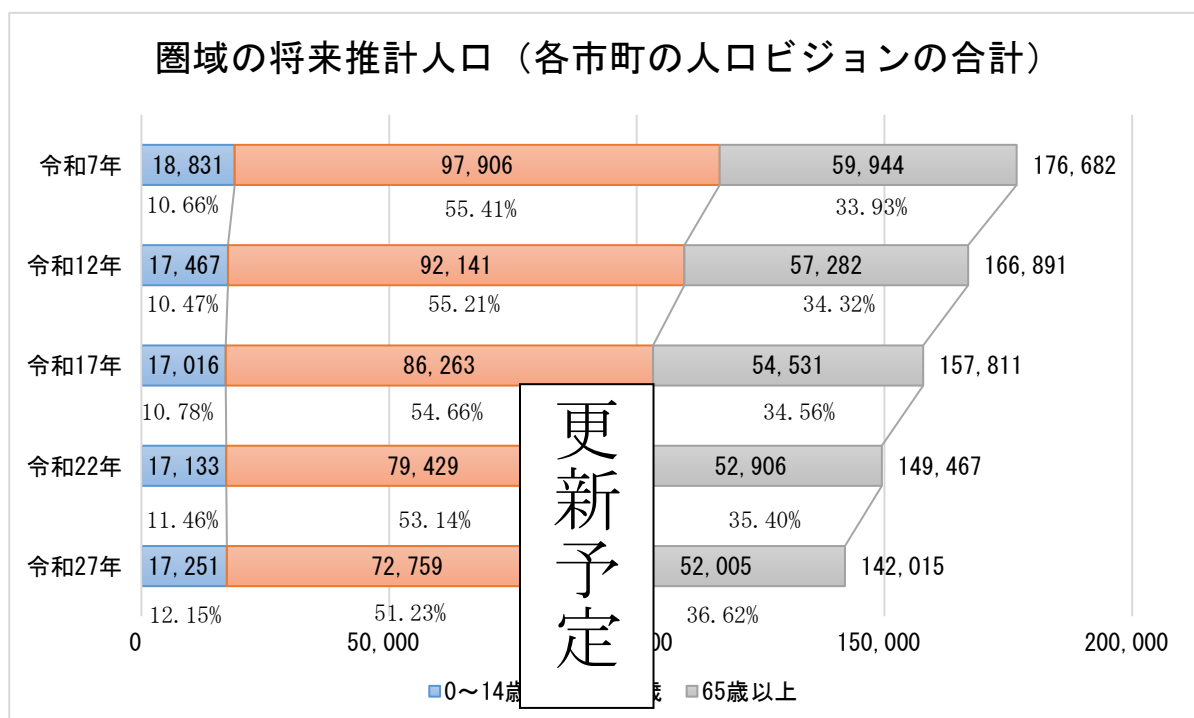
また、圏域のスケールメリットを活かしながら、SDGsの視点に立って地域課題を解決することで、持続可能な地域社会の実現を目指していくためには、新たな課題への対応も必要です。

以上のことから、社会情勢の変化に柔軟かつ的確に対応し、住民ニーズに応えるため、圏域で展開している施策の調整や共通課題に連携して取り組むとともに、「生活機能の強化」、「結びつきやネットワークの強化」、「圏域のマネジメント能力の強化」といった3つの政策分野について、2市1町が一体となって取り組むことで、圏域の発展に努めます。

## 2 将来像

石巻市、東松島市、女川町の2市1町が相互に連携し、生活機能の確保、地域資源を活かした産業の振興、移住定住の促進などに取り組み、社会の変化にも柔軟に対応することによって、「住民が住むことに誇りを持ち、持続・発展する石巻圏域定住自立圏の形成」を目指します。

### 圏域の将来人口の目標



(単位：人)

| 自治体  | 項目     | 令和7年    | 令和12年   | 令和17年   | 令和22年   | 令和27年   |
|------|--------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 石巻市  | 0～14歳  | 13,843  | 13,025  | 13,054  | 13,542  | 13,994  |
|      | 15～64歳 | 73,417  | 69,207  | 65,064  | 60,565  | 56,096  |
|      | 65歳以上  | 45,604  | 43,218  | 40,839  | 39,178  | 38,519  |
|      | 合計     | 132,865 | 125,451 | 118,958 | 113,284 | 108,609 |
| 東松島市 | 0～14歳  | 4,570   | 4,081   | 3,655   | 3,328   | 3,037   |
|      | 15～64歳 | 21,570  | 20,433  | 19,090  | 17,156  | 15,272  |
|      | 65歳以上  | 12,079  | 11,955  | 11,745  | 11,894  | 11,816  |
|      | 合計     | 38,219  | 36,469  | 34,490  | 32,378  | 30,125  |
| 女川町  | 0～14歳  | 418     | 361     | 307     | 263     | 220     |
|      | 15～64歳 | 2,919   | 2,501   | 2,109   | 1,708   | 1,391   |
|      | 65歳以上  | 2,261   | 2,109   | 1,947   | 1,834   | 1,670   |
|      | 合計     | 5,598   | 4,971   | 4,363   | 3,805   | 3,281   |
| 圏域合計 | 0～14歳  | 18,831  | 17,467  | 17,016  | 17,133  | 17,251  |
|      | 15～64歳 | 97,906  | 92,141  | 86,263  | 79,429  | 72,759  |
|      | 65歳以上  | 59,944  | 57,282  | 54,531  | 52,906  | 52,005  |
|      | 合計     | 176,682 | 166,891 | 157,811 | 149,467 | 142,015 |

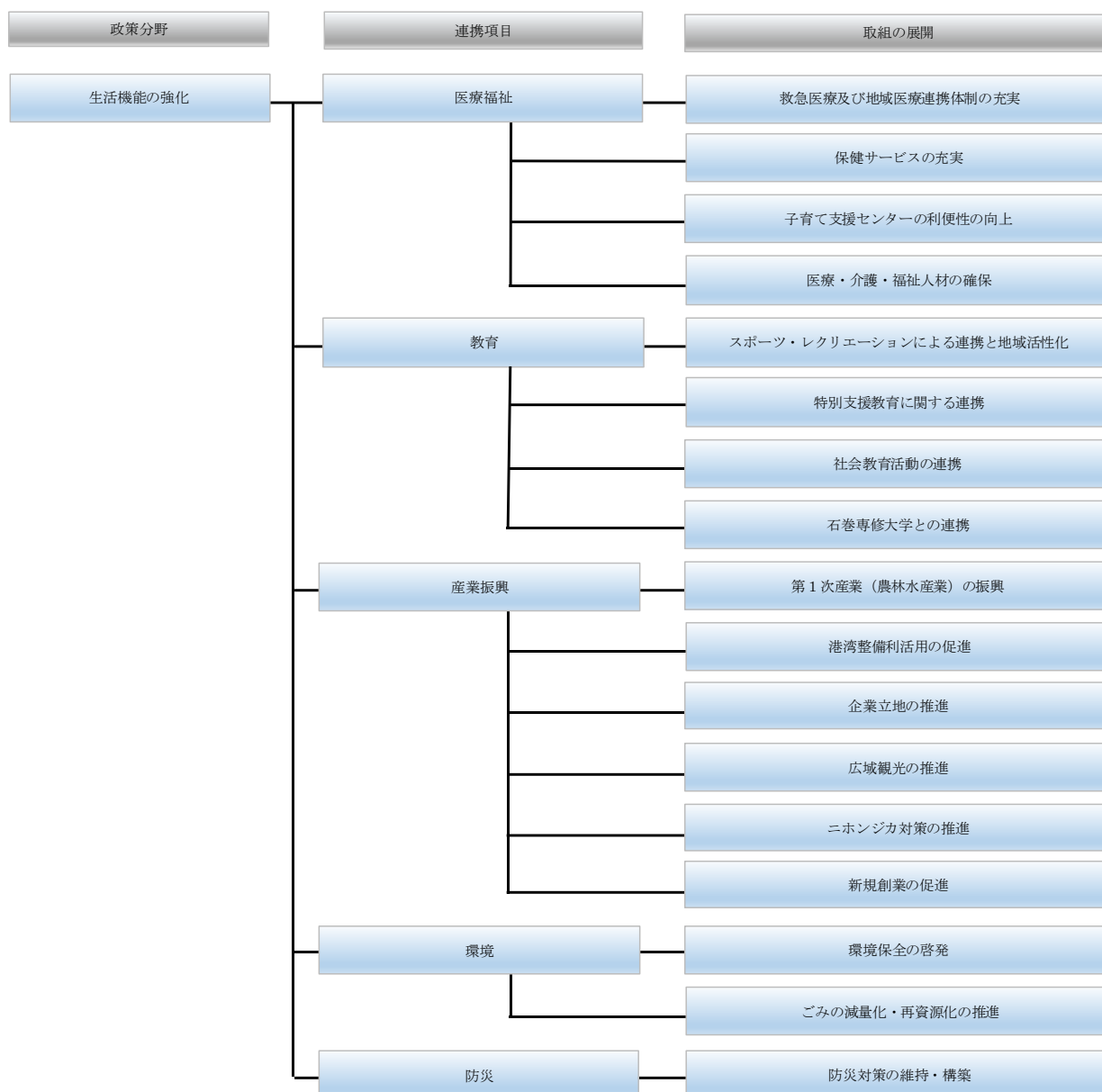
※端数の処理により、総人口と各年齢階級別の人口が一致しない場合がある。

### 第3章 定住自立圏形成に向けた具体的な取組

以降の事業内容については、  
ビジョン懇談会でいただく  
意見を反映させる予定です。

## 1 体系図

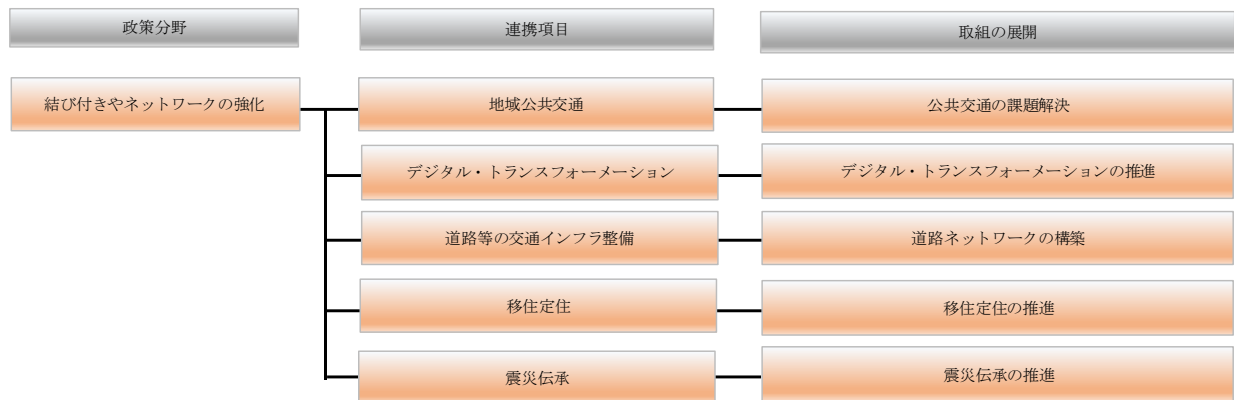
### (1) 生活機能の強化



暫定的に資料5でお示しした連携項目をもとに体系図を作成しております。



## (2) 結びつきやネットワークの強化



## (3) 圏域マネジメント能力の強化



## 【Ⅰ 生活機能の強化に係る政策分野】

### 1 医療福祉

#### (1) 救急医療及び地域医療連携体制の充実

##### 【現状と課題】

本圏域の一次救急は、在宅当番医制事業及び石巻市夜間急患センターにより、二次救急は、公的3病院及び民間3病院の協定により、三次医療は、石巻赤十字病院の救命救急センターにより実施されています。また、圏域で連携して障がい児・者歯科診療対策事業を実施しているほか、各種会議に参加し、更なる地域医療連携の強化を図っています。

主な関連する SDGs



##### 【形成協定】

救急医療体制（石巻市夜間急患センター、病院群輪番制等）及び地域医療連携体制の強化・充実に取り組む。

##### 【具体的取組】

| 事業名           |                                   | 救急医療・地域医療連携体制整備事業                                                                                                                                                        |          | 連携市町       |          | 石巻市、東松島市、女川町 |          |             |
|---------------|-----------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|------------|----------|--------------|----------|-------------|
| 事業内容          |                                   | ○在宅当番医制事業、石巻市夜間急患センターの運営による一次救急医療体制、病院群輪番制事業、救命救急センター等運営費助成事業による二次・三次救急医療体制を維持する。<br>○障がい児・者歯科診療対策事業による歯科診療を実施する。<br>○地域医療構想調整会議、災害保健医療連絡会議等に参加し、大規模災害時の保健医療救護活動の円滑化を図る。 |          |            |          |              |          |             |
| 期待される効果       |                                   | ○圏域                                                                                                                                                                      |          | 以降の個別事業は省略 |          |              |          |             |
| 年次計画          |                                   |                                                                                                                                                                          |          |            | R7       |              | R8       |             |
|               | 一次・二次・三次救急医療体制の維持                 |                                                                                                                                                                          |          |            |          |              |          |             |
|               | 障がい児・者歯科診療対策事業の実施                 |                                                                                                                                                                          |          |            |          |              |          |             |
|               | 大規模災害時における保健医療救護活動円滑化に向けた関係会議への参加 |                                                                                                                                                                          |          |            |          |              |          |             |
| 事業費<br>(千円)   | R4                                |                                                                                                                                                                          | R5       | R6         | R7       |              | R8       | 合計          |
|               | 544, 125                          |                                                                                                                                                                          | 544, 125 | 544, 125   | 544, 125 |              | 544, 125 | 2, 720, 625 |
| 連携市町の<br>役割分担 | 石巻市                               | ○関係機関への業務委託、石巻市夜間急患センターの運営等により、救急医療体制の維持及びその充実を図るとともに、病院群輪番制病院運営事業を継続する。<br>○障がい児・者歯科診療対策事業を実施する。<br>○関係会議に参加し、地域医療連携の強化を図る。                                             |          |            |          |              |          |             |
|               | 女川町<br>東松島市                       | ○関係機関への業務委託、石巻市夜間急患センターの運営等により、救急医療体制の維持及びその充実を図るとともに、病院群輪番制病院運営事業を継続する。<br>○障がい児・者歯科診療対策事業を実施する。<br>○関係会議に参加し、地域医療連携の強化を図る。                                             |          |            |          |              |          |             |

| 数値指標                  | 単位 | 現状値 | 5年後の目標値<br>(令和8年度) |
|-----------------------|----|-----|--------------------|
| 病院群輪番制病院運営事業の実施割合(単年) | %  | 100 | 100                |

## 【参考資料】

- ・石巻圏域定住自立圏形成推進会議規約
- ・石巻圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会設置要綱
- ・石巻圏域定住自立圏構想推進体制

## 石巻圏域定住自立圏形成推進会議規約

(名称)

第1条 この会は、石巻圏域定住自立圏形成推進会議（以下「推進会議」という。）という。

(目的)

第2条 推進会議は、石巻圏域の市町が相互に連携・協力し、地域の実情に応じた自主的・自立的な地域づくりを行うことにより、人々が将来にわたって安心して暮らし続けることができる魅力的な「石巻圏域定住自立圏」の形成を推進することを目的とする。

(構成市町)

第3条 推進会議は、石巻市、東松島市、女川町をもって構成する。

(所掌事務)

第4条 推進会議は、次に掲げる事項について協議する。

- (1) 定住自立圏形成に関する協議及び調査に関すること。
- (2) 定住自立圏形成に関する協定書の策定に関すること。
- (3) 定住自立圏共生ビジョンの策定に関すること。
- (4) その他定住自立圏形成に関し必要な事項

(委員)

第5条 推進会議は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 石巻市長
- (2) 東松島市長
- (3) 女川町長
- (4) 石巻市議会議長
- (5) 東松島市議会議長
- (6) 女川町議会議長

(役員)

第6条 推進会議に次の役員を置く。

- (1) 会 長 1名
- (2) 副会長 2名

(会長)

第7条 会長は、石巻市長がこれにあたる。

2 会長は、会務を総理し、推進会議を代表する。

(副会長)

第8条 副会長は、東松島市長及び女川町長がこれにあたる。

2 副会長は、会長を補佐し、会長が事故あるとき又は欠けたときは、その職務を代理する。

(会議の運営)

第9条 推進会議は、会長が招集し、会議の議長は、会長がこれにあたる。

2 推進会議の議事、その他会議の運営に関し必要な事項は、会長が会議に諮って定める。

3 会長は、必要があると認めるときは、推進会議の会議に委員以外の者の出席を求め、意見等を聴くことができる。

(調整部会)

第10条 推進会議の会務を円滑に行うため、調整部会を置く。

- 2 調整部会は、次に掲げる者をもって構成する。
  - (1) 石巻市企画担当部長
  - (2) 東松島市企画担当部長
  - (3) 女川町企画担当課長
  - (4) 構成市町の関係部課長
- 3 調整部に部会長及び副部会長を置き、部会長は石巻市企画担当部長が、副部会長は東松島市企画担当部長並びに女川町企画担当課長がこれにあたる。
- 4 調整部会は、調整部会長が招集し、会議の議長は、調整部会長がこれにあたる。
- 5 調整部会長は、必要があると認めるときは、調整部会の会議に調整部会の構成員以外の者の出席を求め、意見等を聴くことができる。
- 6 調整部会長は、必要があると認めたときは、第12条で定めるワーキンググループの座長等を調整部会の会議に出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

(調整部会の所掌事務)

第11条 調整部会は、次に掲げる事項について協議、調整する。

- (1) 推進会議に付議すべき事項に関すること。
- (2) 推進会議が議決した事項の執行に関すること。
- (3) その他調整部会において必要と認めた事項

(ワーキンググループ)

第12条 調整部に、必要に応じてワーキンググループ（以下「グループ」という。）を設けることができる。

- 2 グループは、担任する事項について調査・研究及び立案にあたる。
- 3 グループは、担任する事項に関連する市町の職員をもってこれにあてる。
- 4 グループに座長及び副座長を置き、グループを構成する職員の互選により選任する。
- 5 グループの会議は、座長が招集し、会議の議長は、座長がこれにあたる。
- 6 グループにおいて調査・研究及び立案した事項は、速やかに調整部に報告する。
- 7 座長は、必要があると認めたときは、グループの会議に構成員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

(事務局)

第13条 推進会議の事務を円滑に処理するため、事務局を置く。

- 2 事務局の構成は次の各号に掲げるとおりとする。
  - (1) 石巻市企画担当課
  - (2) 東松島市企画担当課
  - (3) 女川町企画担当課

(細則)

第14条 この規約に定めるもののほか、推進会議の事務の運営上必要な細則は、会長が別に定める。

附 則

この規約は、平成22年4月26日から施行する。

附 則

この規約は、令和4年1月13日から施行する。

## 石巻圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会設置要綱

石巻圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会設置要綱（平成２２年石巻市告示第２２７号）の全部を改正する。

（設置）

第１条 定住自立圏構想推進要綱（平成２０年１２月２６日付総行応第３９号総務事務次官通知）第６に規定する定住自立圏共生ビジョン（以下「ビジョン」という。）の策定又は変更に関する意見を聴取し、ビジョンに反映させるため、石巻圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会（以下「懇談会」という。）を設置する。

（意見を求める事項）

第２条 懇談会は、次の事項について、意見を聴取する。

- (1) ビジョンの策定に関すること。
- (2) ビジョンの変更に関すること。
- (3) ビジョンの進捗に関すること。
- (4) 前３号に掲げるもののほか、市長が必要と認める事項

（構成員及び選任期間）

第３条 懇談会は、石巻市と東松島市及び石巻市と女川町が締結した定住自立圏形成に関する協定書（平成２２年１０月１日締結）に掲げる政策分野に係る者３０人以内をもって構成し、市長が選任する。

２ 懇談会の構成員（以下「構成員」という。）の選任期間は、選任の日から２年とする。

３ 構成員が欠けた場合における後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

（座長及び副座長）

第４条 懇談会に、座長及び副座長を置き、構成員の互選により定める。

２ 座長は、懇談会の進行を行う。

３ 副座長は、座長を補佐し、座長に事故があるとき、又は座長が欠けたときは、その職務を代理する。

（会議）

第５条 懇談会の会議は、市長が必要に応じて開催する。

２ 市長は、必要があると認めるときは、懇談会の会議に構成員以外の者を出席させ、説明又は意見を聴くことができる。

（庶務）

第６条 懇談会の庶務は、復興企画部政策企画課において処理する。

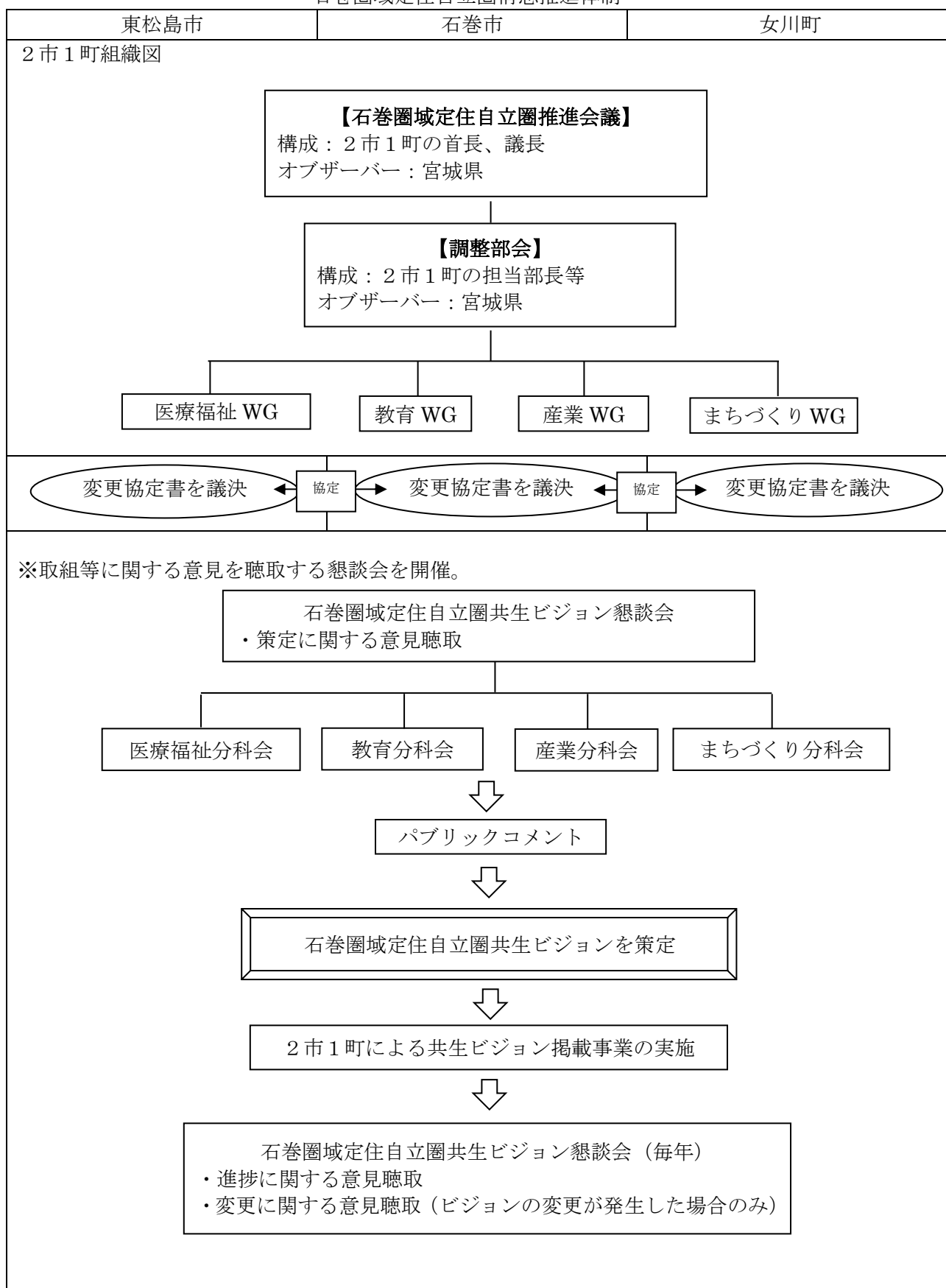
（その他）

第７条 この要綱に定めるもののほか、懇談会の運営に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この告示は、令和４年６月１日から施行する。

石巻圏域定住自立圏構想推進体制







石巻圏域定住自立圏共生ビジョン

令和9年1月 日 策定

■ 発 行 ／ 石巻市

■ 編 集 ／ 石巻市企画部政策企画課  
〒986-8501 宮城県石巻市穀町14番1号  
E-mail isplan@city.ishinomaki.lg.jp